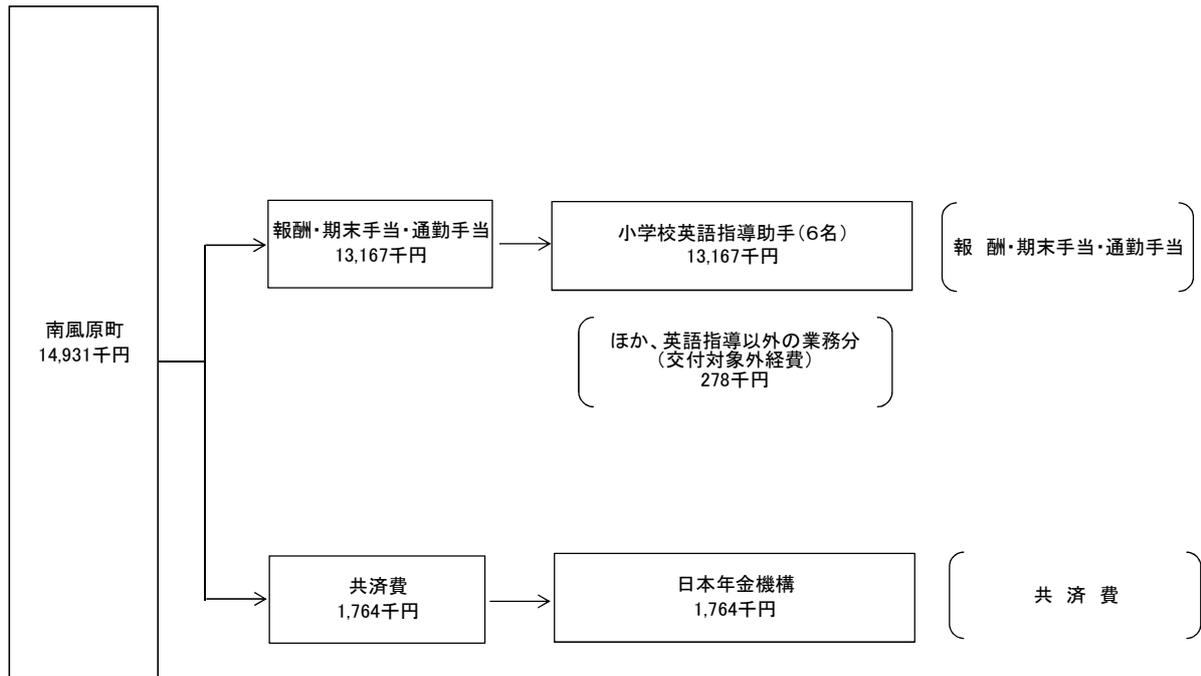


市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-② 小学校英語指導助手配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	小学校に英語指導助手を配置し、英会話や外国の文化について興味を持たせ、英語力の向上に繋げる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		7,200	7,200	7,200	14,277	15,848
			7,200	7,200	7,200	14,058	15,497
			0	0	0	▲ 219	▲ 351
			-	-	-	-	-
	B. 執行済額 うち交付金充当額		7,200	7,200	7,200	14,058	15,497
			7,165	7,020	7,130	13,825	14,931
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.5%	97.5%	99.0%	98.3%	96.3%
	予算の状況の説明	小学校英語指導助手6名のうち2名が新規での採用となり期末手当の金額が減少したことや、交付対象外経費が発生したこと等により、予算額が351千円の減額、予算執行率が96.3%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	小学校英語指導助手配置数: 1人 ・4名(4校各1名) ・2名(中学校区各1名)		目標 (4人) 実績 4人	(4人) 4人	(6人) 6人	(6人) 6人	
			目標 () 実績	() 実績	() 実績	() 実績	
達成状況説明	町内小学校4校全てと2中学校区に1人ずつ全てに英語指導助手を配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童の割合: 80%以上		目標 () 実績	(80%以上) 78.00%	(80%以上) 79.50%	(80%以上) 77.65%	() 実績
			目標 () 実績	() 実績	() 実績	() 実績	() 実績
	進捗状況説明	3月に4小学校の児童に対しランダムでアンケート調査を行った。その結果77.65%と目標まで2.35%足りない結果となり、目標達成には至らなかった。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・アンケートの結果を細かく分析すると、3・4年生の割合(81.5%)よりも5・6年生の割合(73.8%)が低かった。</p>	<p>・低学年は概ね成果を達成していることから、高学年に対する授業の改善や工夫が必要となる。高学年から英語(アルファベット)を書く授業が始まるため、当該部分の授業の改善等が必要となる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・英語(アルファベット)を書くことの苦手意識を改善するためにワークシート等を取り入れるなど、担任と英語指導助手等の連携により授業改善を行っていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
15,209	14,931	11,945	2,986	278



資金の流 れ、 点 検 評 価 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○英語指導助手の選定は採用前に面接を行い、資格や発音が正確な助手を採用しており選定方法は妥当である。</p> <p>○学校の授業規模にあった配置を行っており、予算規模は適正である。</p> <p>○費目使途が事業目的に即しているかについては南風原町の「南風原町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」に決められた給料や手当等を支払っており適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③ 学力調査等事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア			
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身に付ける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	個々の学力を把握することで一人ひとりの課題を明確にし、児童生徒のさらなる学力向上に繋げるため、学力調査等を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,230	4,451	4,530	4,895	4,705
		(b) 予算現額	4,230	4,451	4,530	3,994	4,127
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	▲ 901	▲ 578
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	4,230	4,451	4,530	3,994	4,127
		B. 執行済額	3,929	4,126	4,234	3,977	4,093
		うち交付金充当額	3,143	3,301	3,387	3,181	3,275
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	92.9%	92.7%	93.5%	99.6%	99.2%
予算の状況の説明	予算については、当初外部講師による公開授業を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大の影響による公開授業中止や学力調査対象者数等により、578千円を減額した。 町内全ての小中学校(小学校4校、中学校2校)において学力調査を実施し、適正な予算執行を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	学力調査等の実施 ・小学校4校中4校(国語・算数・5年生理科) ・中学校2校中2校(国語・数学・理科・社会・英語)	目標	(小学校4校中4校 中学校2校中2校)	(小学校4校中4校 中学校2校中2校)	()	()	
	①標準学力調査の実施 ・小学校4校(1年~2年:国語・算数) ②学力調査の実施 ・中学校2校(3年:国語・数学・理科・社会・英語) ③リーディングスキルテストの実施 ・小学校4校 6年 ・中学校2校 1年~2年	目標	()	()	(小学校4校中4校 中学校2校中2校)	(小学校4校中4校 中学校2校中2校)	
達成状況説明	標準学力調査、学力調査、リーディングスキルテストについて、対象の小中学校で計画どおり実施する事ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	標準学力調査の平均回答率が目標値以上の科目数 ・小学校:13科目/13科目 ・中学校:1科目以上/10科目	目標	()	(小学校:全科目 中学校:1科目以上)	()	()	()
		実績	/	小学校:12科目 中学校:2科目			/
	県学力到達度調査の平均正答率が県平均以上の科目数 小学校:全科目/7科目 中学校:全科目/6科目	目標	()	(小学校:全科目 中学校:全科目)	()	()	()
		実績	/	小学校:6科目 中学校:全科目			/
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・小学6年 算数+3.3ポイント以上 ・中学1年 数学+0.9ポイント以上 ・中学2年 数学+0.9ポイント以上	目標	()	()	(小6 算数+0.7 中1 数学+9.1 中2 数学+6.6)	(小6 算数+3.3 中1 数学+0.9 中2 数学+0.9)	()
	実績	/		(小6 算数-3.3 中1 数学+1.6 中2 数学+3.4)	(小6 算数-0.1 中1 数学-0.2 中2 数学+0.2)	/	
標準学力調査の平均正解率が目標値以上の科目数 ・小学1・2年生:4科目/4科目	目標	()	()	(小学1年~2年 2科目(全科目))	(小学1年~2年 2科目(全科目))	()	
	実績	/		小学校:1年(2科目) 2年(0科目)	小学校:1年(2科目) 2年(0科目)	/	
進捗状況説明	・標準学力調査の実施により、算数の基礎的な問題は7割以上解くことができているが、活用問題、記述式になると5割以下の回答となっており、思考力の部分で課題が見えた。 ・小1で国語、算数ともに全国平均を上回った。小2は国語、算数ともに全国平均を下回り、学年が上がると全国との差が出てくる傾向にある。 ・県学力到達度調査の平均正答率は小学校・中学校共に算数・数学を目標にしていたが、目標に届かなかった。						

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の標準学力調査で全国平均を下回った小2は、国語では、話を聞き取る問題と、漢字の問題での不正解が目立っており全国平均を下回った。また、算数では、選択式の問題やかけ算九九では正答率は全国平均となっているが、繰り上がり足し算、繰り下がり引き算の基礎的な計算、図を読み取った立式、時間やものさしの読み取りで全国平均を下回った。 ・中学校の学力到達度調査では、小6、中1で県平均に届かなかったが、中2の数学は県平均を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校ともに、選択式の問題はある程度解答できているが、問題を読み取り自らの考えを書いたり、式を導き出すといった思考力の部分で課題があるので、課題解決に向け引き続き学力の向上に務める。思考力を助けるために、電子黒板やデジタル教科書等を使ってイメージできるよう、授業改善に取り組む。 ・小中学校においては、全教科で読解力を意識した授業改善に努める。

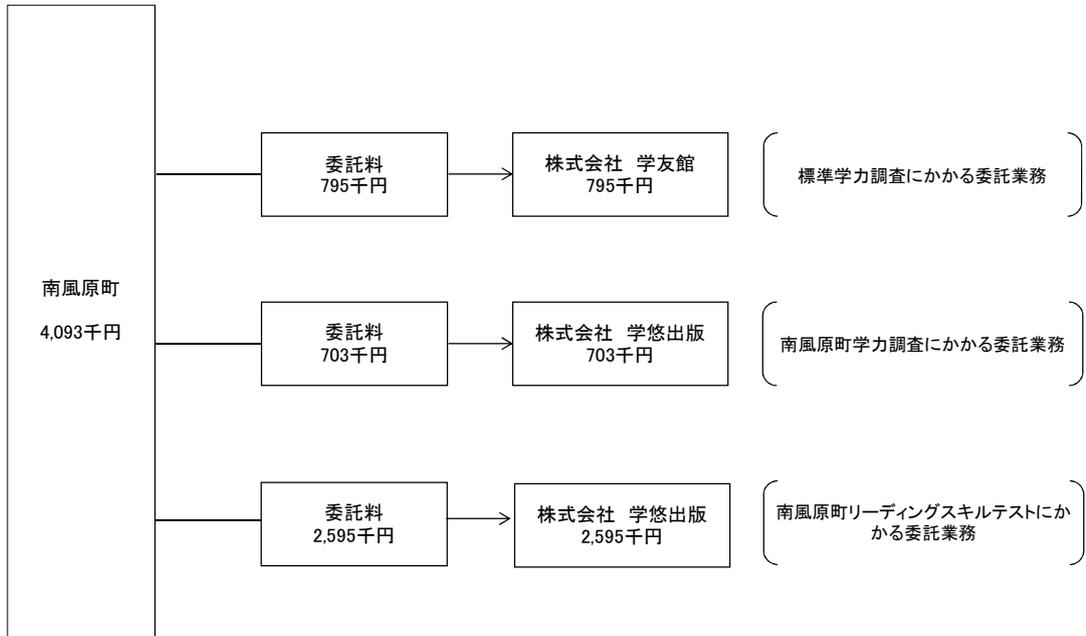
今後の取り組み方針

・小学校低学年においては、全国との差はあまりみられないので今後も維持できるよう努める。学年があがるとともに学力が落ちないように、複雑になっていく授業内容を理解できるよう、写真や動画を使ってイメージを助ける教材を活用しながら授業改善に取り組む。

・中学校においては、教科書に書かれている事を読み取れるように読解力の強化に取り組むとともに、家庭学習の習慣化により授業の復習を基礎基本とした指導を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,093	4,093	3,275	818	0



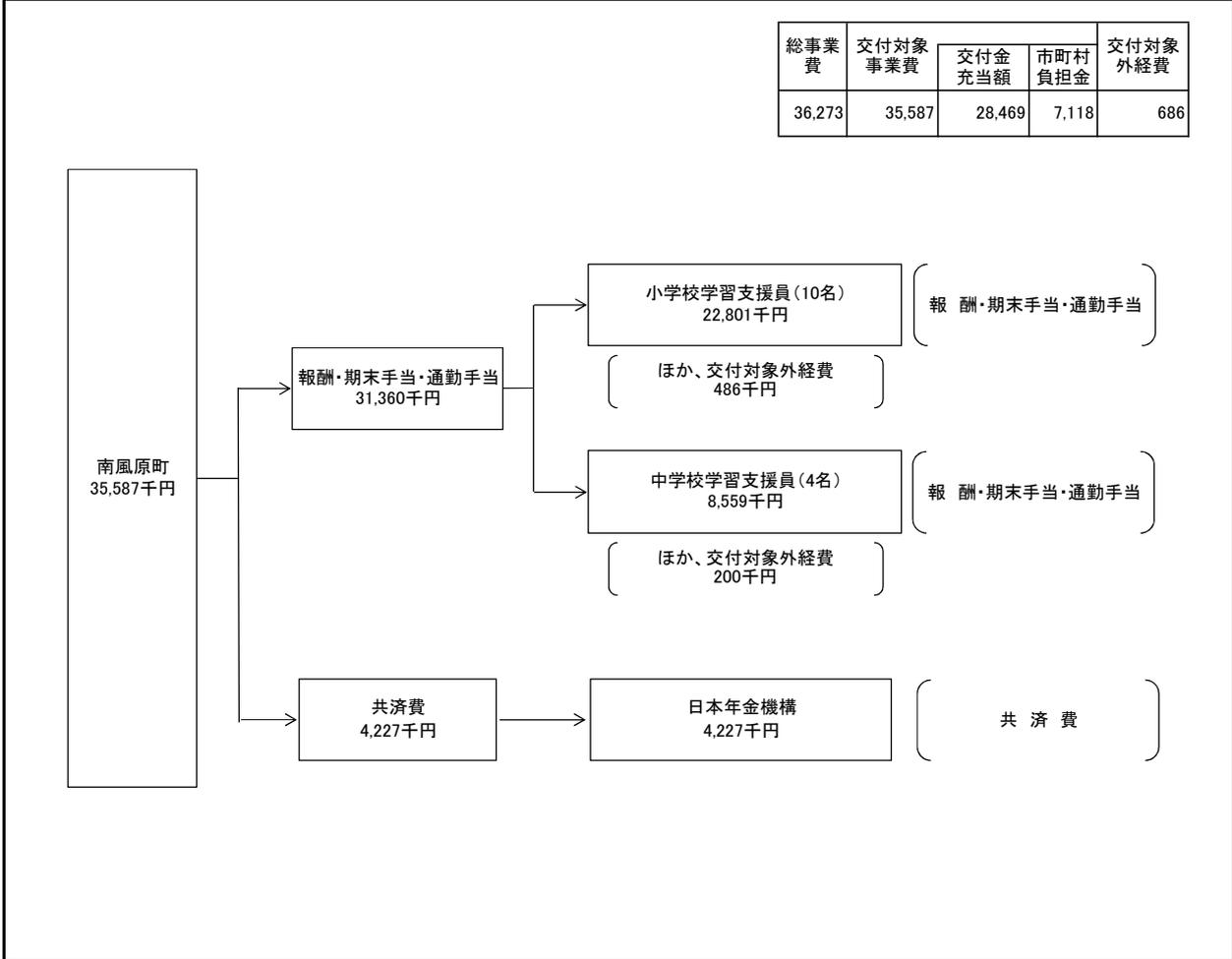
資金の流し、点検、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者の選定方法は、全国で採用している市町村が多く、学力の比較がしやすい調査を実施している業者を選定し、随意契約とした。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、本事業の完遂に必要な費用に限られており、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、学力調査委託料として目的に即し、受験者数に応じ支出しており適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	学習支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身に付ける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	小・中学校に学習支援員を配置し、通常の授業について行けない児童生徒のフォローを行い、学力の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		24,960	24,960	23,040	30,621	40,173	
		24,960	22,488	23,040	33,198	37,517	
		0	▲ 2,472	0	2,577	▲ 2,656	
		-	-	-	-	-	
		24,960	22,488	23,040	33,198	37,517	
		23,879	22,258	22,004	31,529	35,587	
		19,103	17,806	17,603	25,223	28,469	
		0	0	0	0	0	
		95.7%	99.0%	95.5%	95.0%	94.9%	
予算の状況の説明	小学校で2名、中学校で1名途中退職があり、代替の人材を確保するのに時間を要したこと等により2,656千円の予算減となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	(小学校) -10名:4校各2名配置、研究指定校に2名追加配置 -配置学年:主に2~5年、主な配置科目:算数、国語 (中学校) -4名:2校各2名配置 -配置学年:主に1~2年、主な配置科目:数学・理科・英語	目標	(小学校8人 中学校4人)	(小学校8人 中学校4人)	(小学校10人 中学校4人)	(小学校10人 中学校4人)	
		実績	小学校8人 中学校4人	小学校8人 中学校4人	小学校10人 中学校4人	小学校10人 中学校4人	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	途中退職者が出て配置できない期間もあったが最終的には全ての学校で必要となる人数を配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	・小学校 沖縄県学力定着状況調査(学びのたしかめ)において県と本町との平均正答率の差の合計 算数-3.7ポイント以上	目標	()	()	()	(算数:-3.7ポイント以上)	()
		実績				算数:-2.6ポイント	
	・中学校 沖縄県学力到達度調査の県と本町との平均正答率の差の合計 数学+1.7ポイント以上 理科+1.3ポイント以上 英語+3.0ポイント以上	目標	()	()	(数学+1.7ポイント以上 理科+1.3ポイント以上 英語+3.0ポイント以上)	(数学+1.7ポイント以上 理科+1.3ポイント以上 英語+3.0ポイント以上)	()
		実績			沖縄県学力到達度調査中止	数学:-0.1ポイント 理科:実施なし 英語:-2.2ポイント	
	沖縄県学力到達度調査の県と本町との平均正答率の差の合計 ・小学校 算数+6.9ポイント以上、国語+3.8ポイント以上	目標	()	()	(算数+6.9ポイント以上 国語+3.8ポイント以上)	()	()
		実績			沖縄県学力到達度調査中止		
	・標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 小学校:4科目/4科目 中学校:1科目以上/8科目	目標	()	(小学校:全科目 中学校:1科目以上)	()	()	()
		実績		小学校:全科目 中学校:1科目			
進捗状況説明	小学校については県と本町との平均正答率の差の合計を指標としたところ算数-2.6ポイントとなり、目標を達成することができた。中学校については数学が-0.1ポイント、英語が-2.2ポイントとなり、目標を達成することができなかった。理科については学力到達度調査で理科が実施されなかったため、中3が実施した学力調査の結果を用いて説明する。中3理科は自治体と本町との平均点を比較したところ-0.1ポイントとなり、自治体平均点を超える事はできなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校については目標を達成する事ができた。 ・中学校については目標を達成することができなかったが、数学と理科は県との差を-0.1ポイントと縮めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も全科目目標を達成できるよう、基礎学力の向上や授業内容の工夫・改善を担当教諭と協力して行っていく必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上のために、教員と学習支援員、教育委員会が一体となり、学力向上のために何が必要か調査検討していき、研修等も行いながら、より質の高い授業が展開できるように取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



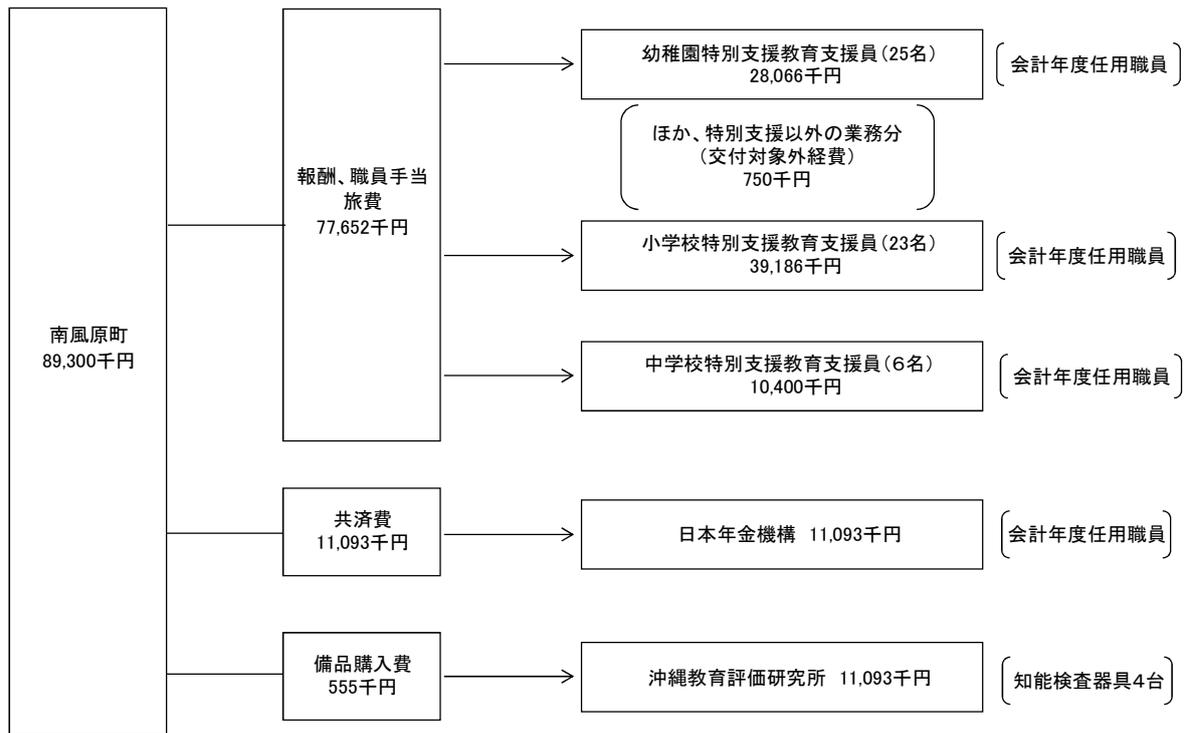
資金の流 れ、費目 点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○学習支援員の選定は、採用前に面接を行い、資格や教職経験等を考慮して採用しており妥当である。 ○学校の授業規模にあった配置を行っており、予算規模は適正である。 ○費目使途が事業目的に即しているかについては南風原町の「南風原町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」に決められた時給を支払っており適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤ 特別支援教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ		
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進		
事業内容	通常学級で一斉指導についていけない発達障害等のある子どもに対し、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a)当初予算額	62,080	68,741	68,466	88,900	93,756
		(b)予算現額	54,103	58,310	53,054	80,292	97,468
		(c)増減額(b-a)	▲7,977	▲10,431	▲15,412	▲8,608	3,712
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
		A.計(b+d)	54,103	58,310	53,054	80,292	97,468
		B.執行済額	48,822	57,239	48,571	74,508	89,300
		うち交付金充当額	39,057	45,791	38,857	59,606	71,440
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	90.2%	98.2%	91.6%	92.8%	91.6%
予算の状況の説明	当初計画より対象者が増え配置人数が増員となったため予算で3,712千円増額した。また、全幼稚園、全小・中学校へ特別支援教育支援員の配置を行ったが、中途退職・中途採用等により計画どおり配置できず、欠員が生じた期間もあったことから、に不用額8,168千円が発生した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・特別支援教育支援員配置数 小学校:23人、中学校:6人、幼稚園:24人	目標	(幼稚園20名 小学校32名 中学校5名)	(幼稚園19名 小学校26名 中学校5名)	(幼稚園20名 小学校26名 中学校5名)	(幼稚園24名 小学校23名 中学校6名)	
		実績	幼稚園20名 小学校30名 中学校5名	幼稚園19名 小学校23名 中学校5名	幼稚園17名 小学校23名 中学校5名	幼稚園24名 小学校23名 中学校6名	
	・知能検査器具4台購入	目標	()	()	()	(知能検査器具4台購入)	
		実績				知能検査器具4台購入	
達成状況説明	途中退職、採用があり、欠員期間もあったが目標どおり支援員を配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		87.5%	92.5%	95.5%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	特別支援教育支援員の対応への満足度については、対象児童となる保護者へのアンケートを実施し、99名からの回答を集計した結果、満足度95.5%であり、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・園児、児童、生徒数の増加に伴い特別支援教育支援員の配置申請や人員の確保が課題となっている。	・支援を必要とする園児・児童・生徒を早期に把握し、必要となる支援員の確保に努める必要がある。
今後の取り組み方針		
・保育園等から早めの情報提供をもらい、必要となる人員の確保に努めるとともに、早期の療育に努め、個々の状態に応じた支援が行えるように取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
90,050	89,300	71,440	17,860	750



資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○特別支援教育支援員の選定は採用前に面接を行い、資格や経験等を考慮して採用しており選定方法は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○学校の授業規模にあった配置を行っており、予算規模は適正である。(各学校に必要な配置を行っており、不用額は計画どおり配置できなかったことによるものであり適正な規模であった)
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途が事業目的に即しているかについては「南風原町会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する規則」に決められた月給を支払っており適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥ 学校ICT推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	教員のICT機器の習熟や授業での効果的な活用、及び学校教育の質を確保するため、ICT支援員を配置する。また、児童生徒が授業に対し、興味や集中力を高めることができるよう電子黒板用タブレットPC等やデジタル教科書の整備を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	(a) 当初予算額	46,825	13,306	6,720	95,405	20,046	
	(b) 予算現額	43,514	13,306	6,720	88,117	26,759	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 3,311	0	0	▲ 7,288	6,713	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	43,514	13,306	6,720	88,117	26,759	
	B. 執行済額	43,513	13,305	6,714	85,073	25,873	
	うち交付金充当額	34,810	10,644	5,371	68,059	20,698	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.9%	96.5%	96.7%	
予算の状況の説明	ICT機器を十分に活用できるようにICT支援員を小・中学校に配置した。また、電子黒板用タブレットPC等が配置されていない教室への整備やデジタル教科書の整備を図った。執行率は96.7%ではあるが、入札残によるものであり、計画していた事業内容を全て実施することができた。なお、予算の6,713千円の増については、クラス増となった教室へ電子黒板一式の整備を図ったことによるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	ICT支援員を配置することによる教員のICT機器の習熟	目標	(教員のICT機器の習熟)	(教員のICT機器の習熟)	()	()	
		実績	教員のICT機器の習熟度向上	教員のICT機器の習熟度向上			
	ICT支援員配置1名配置	目標	(2名)	(1名)	(1名)	(1名)	
		実績	2名	1名	1名	1名	
	・4小学校・2中学校へタブレットPC等を整備 小学校:106教室 中学校:43教室	目標	()	()	(小学校:106教室 中学校:43教室)	()	
		実績			小学校:106教室 中学校:43教室		
	タブレットPC等を整備できていない教室への整備	目標	()	()	()	(小学校:10教室 中学校:9教室)	
		実績				小学校:10教室 中学校:9教室	
クラス増となった教室へ電子黒板の整備	目標	()	()	()	(小学校:1教室 中学校:6教室)		
	実績				小学校:1教室 中学校:6教室		
達成状況説明	ICT支援員を計画通り配置することができた。また、小学校10教室、中学校9教室へ電子黒板用タブレットPC等の整備、クラス増となった教室へ電子黒板一式の整備を行うことができたことで、児童生徒への授業に対する、興味や集中力を高めることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	①教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		95.90%	94.68%	93.18%	
	②児童生徒にアンケートを実施し、タブレットPC等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすさと答えた割合:80%以上	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			73.15%	89.14%	
進捗状況説明	成果目標①においては、3月に教員にアンケートを実施した。その結果、93.18%が習熟度が上がったと答え、目標を達成することができた。また、ICT支援員を配置したことにより、電子黒板などICT機器を積極的に活用でき、わかりやすく魅力ある授業に取り組むことで、教育の質の向上に繋げることができた。更には授業や行事をオンラインで配信するなど、ICT機器の習熟度が上がったことで、教育環境の幅を広げることができた。 成果目標②においては、3月に児童生徒に対しランダムで抽出を行いアンケートを実施した。その結果、89.14%が電子黒板用タブレットPC等の整備をしたことで授業が楽しく分かりやすかったと答えており、目標を達成することができた。						

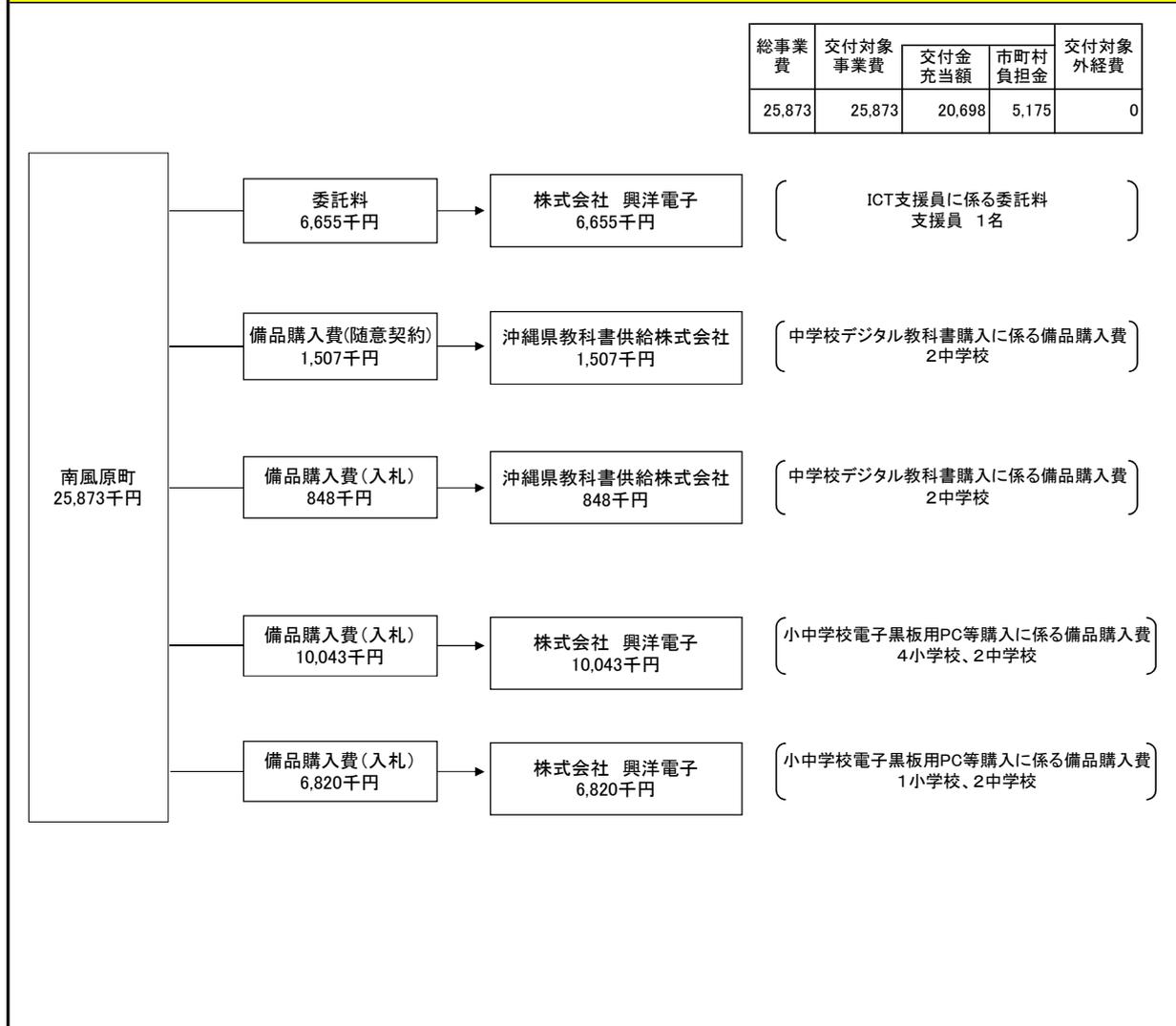
	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(ICT支援員を配置することによる教員のICT機器の習熟) ICT支援員を配置したことにより、教員による学校ICT機器の活用を積極的に行えることができた。また、昨年度に引き続き、今年度においてもコロナ禍の影響により、授業だけではなく行事なども含め様々な場面で学校ICT機器を活用したオンライン授業、配信などを行った。教員のスキルが向上したことで、授業環境の維持でき、児童・生徒への学びの保障へと繋げることができた。 (タブレットPC等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合) 電子黒板のパソコンをタブレットPC等へ機能強化したことで、成果目標である「タブレットPC等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすさと答えた割合：80%以上」とした、アンケート調査では89.14%の結果となり、目標の80%以上を超えることができた。日頃から教員の積極的な活用やスキルの向上による結果ではないかと考える。	(ICT支援員を配置することによる教員のICT機器の習熟) 引き続き成果目標を80%以上と設定し、コロナ禍が続く状況でこそ、積極的にICT機器を活用していけるように、更なる教員の習熟度向上へと繋げていく。そのためには、教員が進んでICT機器を活用した授業などに取り組みんでいけるよう、様々な事例などを紹介し、ICT支援員と連携、情報共有を図っていく。 (タブレットPC等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合) 今後も、成果目標が達成できるよう、様々な学習事例などを紹介し、ICT機器を活用した授業にマンネリ化することなく、児童生徒が集中して授業を受けることができる環境を提供していく。

今後の取り組み方針

(ICT支援員を配置することによる教員のICT機器の習熟)
ICT支援員との情報共有を行い、ICT機器を活用した授業を行うことで教員のICT機器の習熟度をあげていく。また、学校内での研修などを積極的に実施し、活用の幅を広げていく。また、苦手な教員や経験が浅い初任者の教員についても個別研修などを行い、ICT機器の習熟度の向上に繋げていく。

(タブレットPC等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合)
今後も、コロナ禍が続くことで授業環境にも影響があると考えられる。そのため、オンライン学習やインターネットを使用した授業などを積極的に行い、児童生徒に対し、楽しく分かりやすい授業環境を構築していく必要がある。引き続き、教員のICT機器の習熟度の向上を図ることはもちろんのこと、児童生徒を惹きつける内容を授業に取り入れていき、楽しく分かりやすい授業環境を維持していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

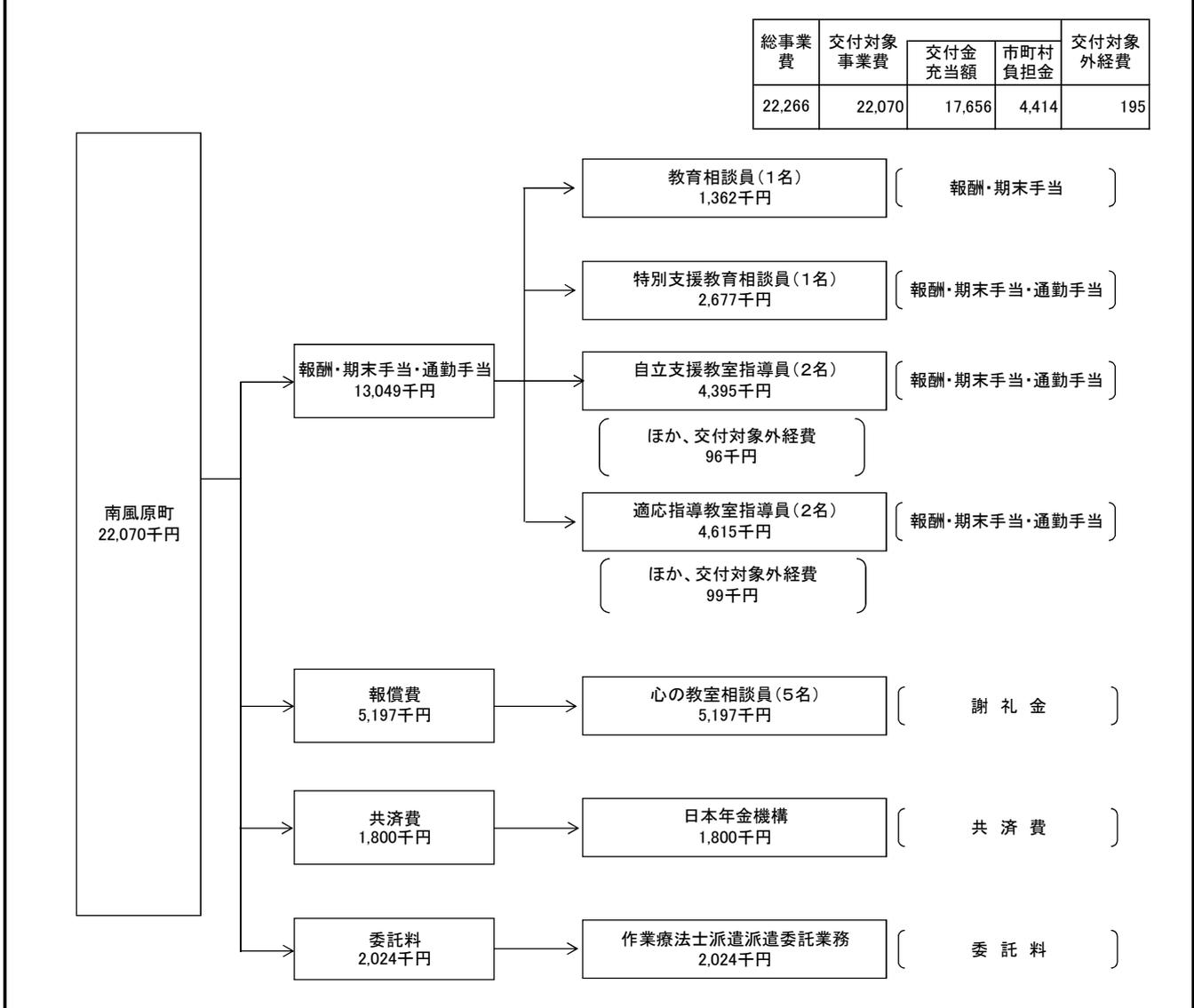


資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ICT支援員委託事業はプロポーザル方式で選定を行っており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○小学校デジタル教科書購入事業は専売期間がある教科については、随意契約を行い、専売期間がない教科については指名競争入札を行ったことから妥当であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○小中学校電子黒板用PC等購入事業は指名競争入札を行ったことから妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○各事業に係る予算が適正に積算されており、不用額は入札結果等によるものであり予算規模は適正な規模であった。 ○費目、使途については各事業における必要経費であり、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		南風原町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑦ 教育相談支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-イ			
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	家庭・地域の教育機能の充実			
事業内容	不登校児童生徒の支援のため、青少年教育相談員、特別支援教育相談員、自立支援教室支援員、適応指導教室学習支援員、心の教室相談員を配置する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
		16,142	16,143	16,143	19,629	24,301		
		16,142	15,823	16,143	19,290	24,301		
		0	▲ 320	0	▲ 339	0		
		-	-	-	-	-		
		16,142	15,823	16,143	19,290	24,301		
		15,332	15,853	15,495	19,379	22,070		
		12,266	12,682	12,396	15,503	17,656		
		0	0	0	0	0		
		95.0%	100.2%	96.0%	100.5%	90.8%		
予算の状況の説明	執行率は90.8%となっているが、作業療法士派遣委託業務において、訪問回数の実績が当初見込みより減ったことや、自立支援教室相談員及び適応指導教室相談員の報酬に交付対象外経費が発生したこと等によるものである。							
活動目標 (指標) 及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	・青少年教育相談員 1名配置	目標	(配置)	(配置)	(配置)	(配置)		
	・特別支援教育相談員 1名配置	実績	配置	配置	配置	配置		
	・自立支援教室支援員 2名配置							
	・適応指導教室学習支援員 2名配置	目標	()	()	()	(66日)		
・心の教室相談員 5名配置	実績	92日						
・作業療法士の派遣 66日								
達成状況説明	町内の小中学校に青少年教育相談員1名、特別支援教育相談員1名、自立支援教室支援員2名、適応指導教室学習支援員2名、心の教室相談員5名を配置すると共に、学校に作業療法士を派遣し児童生徒の学習環境に応じた対応をおこない不登校の未然防止に取り組んだ。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	不登校児童生徒復帰率:22.8%以上		目標	()	(60%)	(26.5%)	(22.8%)	()
			実績	22.4%	25.0%	18.40%		
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	()
	不登校児童生徒復帰率(全国)		実績	26.5%	22.8%	28%		
	進捗状況説明	不登校児童生徒復帰率については目標値を下回っているが、これまでの支援に加え、作業療法士を派遣したことで早期の療育に取り組む事ができた。						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・相談体制の強化により早期の療育に取り組んでいるが、生活リズムの乱れが要因で不登校児童生徒が増える傾向にある。	・不登校の恐れがある児童生徒の早期把握が重要である。
	今後の取り組み方針	
・学校と行政が連携するとともに教育相談の充実と作業療法士の派遣を継続することにより不登校の未然防止及び登校復帰に取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○教育相談員、特別支援教育相談員、心の教室相談員の選定は、採用前に面接を行い、資格や経験等を考慮して採用しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は委託料の実績等によるものであり適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目使途事業目的に即しているかについては「南風原町会計年度任用職員の給与の決定及び支給等に関する規則」に決められた報酬を支払っており適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町
------	------

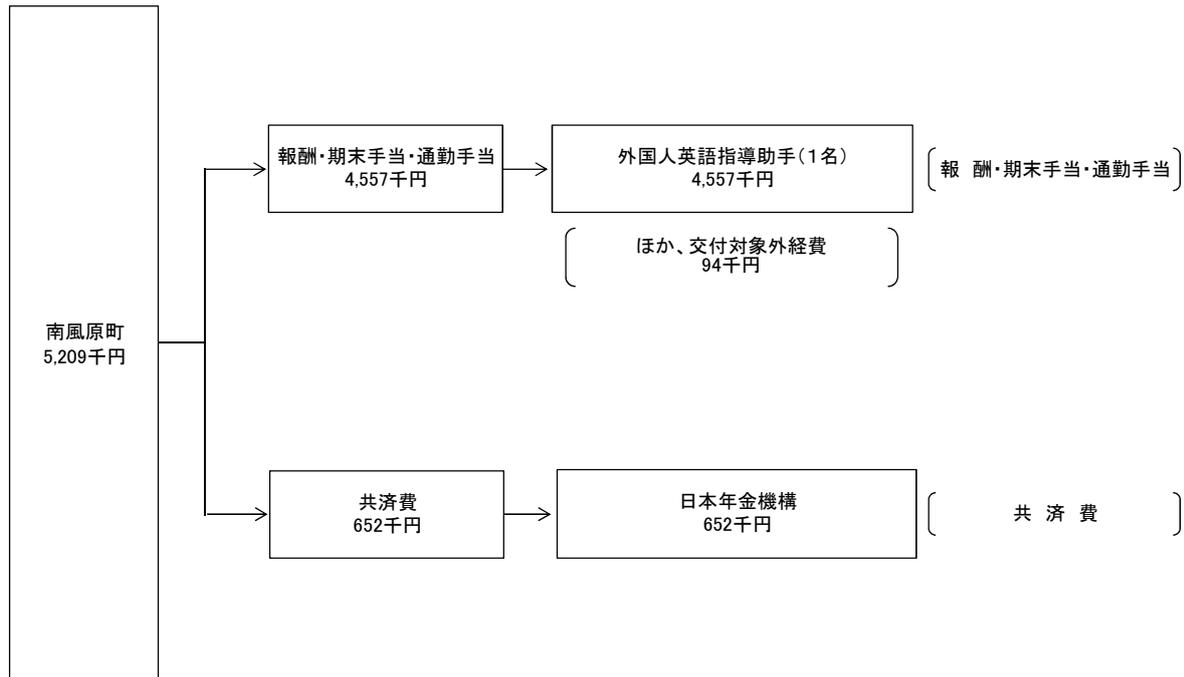
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑧ 中学校外国人英語指導助手配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア			
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	中学校に外国人英語指導助手を配置し、英語学力の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		3,780	3,780	3,780	4,944	5,354
			3,780	3,780	3,780	4,944	5,354
			0	0	0	0	0
			-	-	-	-	-
	B. 執行済額 うち交付金充当額		3,780	3,721	3,435	4,879	5,209
			3,024	2,977	2,748	3,903	4,167
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	98.4%	90.9%	98.7%	97.3%	
	予算の状況の説明	執行率97.3%となっており、必要な人員の配置を行うことができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	中学校に外国人英語指導助手を1名配置する。	目標	(1人)	(1人)	(1人)	(1人)	
		実績	1人	1人	1人	1人	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	目標どおり外国人英語指導助手を年度当初から配置し、英語教育を展開することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	標準学力調査の平均正答率について、目標値との差を縮める。 1年:-1.9ポイント以内 2年:-13.8ポイント以内	目標	()	(1年:-1.9 2年:-13.8)	()	()	()
		実績		(1年:+0.3 2年:-14.4)			
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・中学校英語+3.0ポイント以上	目標	()	()	(+3.0ポイント以上)	(+3.0ポイント以上)	()
		実績			+4.7ポイント	+0.85ポイント	
進捗状況説明	目標値を2.15ポイント下回り目標達成には至らなかった。目標未達成の要因は、小学校英語から中学校英語に移行する際に抵抗があり、生徒が英文法や英会話などに苦手意識を持ったことが原因だと考えられる。まずは、苦手意識を解消していくために、外国人英語指導助手を大いに活用して、あいさつや簡単な日常会話などを英語で行い、コミュニケーションを図っていくように努める。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・沖縄県学力到達度調査において本町の平均正答率が県の平均正答率より0.85ポイント上回ったが目標値には届かなかった。</p>	<p>・今後も英語教育の質をさらに向上させるために、英語指導助手本人の指導力の向上および、英語の担当教員との連携強化が必要となる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・外国人英語指導助手も含めた英語の授業について研修等を行い、連携強化や指導力の向上を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	負担金	
5,303	5,209	4,167	1,042	94



資金の流れ、点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○外国人英語指導助手は採用前に面接を行い、資格や経験等を考慮して採用しており選定方法は妥当である。</p> <p>○予算規模について不用額は5%以内であり、適正な規模であった。</p> <p>○費目使途が事業目的に即しているかについては南風原町の「南風原町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」に決められた給与を支払っており適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨ 南風原町各種大会派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-イ		
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進		
事業内容	県外のひととの競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、小・中学校の児童生徒が、県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の派遣費用の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a) 当初予算額	1800	1,800	1,200		1,200
		(b) 予算現額	1800	605	1,200		1,200
		(c) 増減額(b-a)	0	▲1,195	0		0
		(d) 繰越額	-	-	-		-
		A. 計(b+d)	1,800	605	1,200		1,200
		B. 執行済額	1,122	604	732		1,135
		うち交付金充当額	898	483	586		908
		次年度繰越額	0	0	0		0
		執行率(%) (B/A)	62.3%	99.8%	61.0%		94.6%
予算の状況の説明	県外大会に参加する生徒に対し、派遣費の一部を補助した。 執行率94.6%で計画どおり執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		目標	(派遣費補助)	(派遣費補助)	()	(延べ38名)	
		実績	派遣費補助の実施	派遣費補助の実施		53名	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	九州大会4種目、全国大会3種目、延べ53人(実人数35人)の児童・生徒を運動競技大会に県代表として派遣することの支援ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		目標	()	(80%以上)	()	(80%以上)	()
		実績		100%		100%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	本事業のあり方を検証するため保護者に対してアンケートを実施し、35名からの回答を集計した結果、全保護者から視野が広がるなど成長するうえでいい機会であるとの回答が得られた。						

市町村名		南風原町				
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-⑩ 南風原町県外等派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-イ	
担当部署名	教育部 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進	
事業内容	町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外等へ派遣される場合に対して必要な派遣費用の支援を行う。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		2,976	2,976	2,976	2,976	2,976
		2,976	2,976	2,976	976	2,000
		0	0	0	▲ 2,000	▲ 976
		-	-	-	-	-
		2,976	2,976	2,976	976	2,000
		3,021	2,406	1,893	273	984
		2,416	1,924	1,514	218	787
		0	0	0	0	0
		101.5%	80.8%	63.6%	28.0%	49.2%
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染拡大の影響により多くの大会が中止となったため予算が976千円減額になった。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を見込んでの予算措置が厳しかったため実績として執行率が低くなった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援	目標	(派遣の支援)	(派遣の支援)	()	()
		実績	派遣費用支援の実施	派遣費用支援の実施		
	児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援数	目標	()	()	(50名)	(80名)
実績				25名	80名	
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症拡大の対策を行いつつ、前年度より大会が実施され派遣数が目標どおり達成することが出来た。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
		対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)
	実績		83%	88%	84%	
	目標	()	()	()	()	
	実績					
進捗状況説明	アンケートの結果では、他県の生徒のレベルの高さを実感することができ「頑張ればできる」、「成長することができた」との回答が80%を超えた。					

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 派遣した件数は前年度より増加していることから、多くの県外派遣の支援が求められた。参加した生徒からは、県大会より上位の大会に参加する事で「今後もこのスポーツを続けたい」、「県外の高いレベルに触れることで来年も出たい」という目標ができた」、などの意欲向上の声があった。 ホームページ確認後の問い合わせも増えている事からホームページでの周知も効果があったと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援事業の周知については継続的に行う。 事務手続きをスムーズに進めるため学校との連携強化を図る必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 学校に生徒や保護者から県外派遣の相談があった際には、事業担当課へ繋げるよう学校との連携を図る。 県外派遣への相談時点で開催日時等の確認を行い早めの申請を促し事務手続きをスムーズに実施する。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	1,968	984	787	197	984
<pre> graph LR A[南風原町 984千円] --> B[補助金 984千円] B --> C["20件 (申請者) 学校長・団体代表者 984千円"] C --- D["(航空運賃又は港までの運賃への半額補助)"] </pre>					

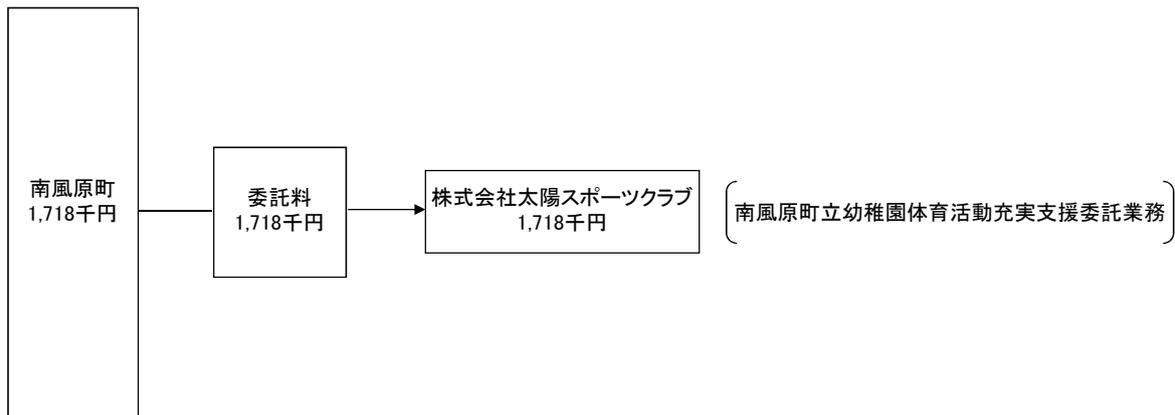
資金の流れ、費目 点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 派遣対象者については、南風原町県外派遣に関する助成金交付要綱に照らして決定しており妥当である。 支援金額については普通運賃額を超えないように比較し、適正に金額を決定している。予算の規模も適正であり、要綱に基づき必要なものに限定して交付している。 受益者の負担も要綱に基づき実施しており、妥当であったと考えている。 事業達成に必要な分の金額のみを支出し、妥当な金額で実施している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑪ 南風原町幼稚園体育活動充実事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ		
担当部署名	教育部 教育総務課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進		
事業内容	幼少期に運動する楽しさを実感してもらい、その後の運動習慣を身に付けられるよう、幼稚園児を対象に専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,711	1,711	1,729	1,743	1,798
		(b)予算現額	1,711	1,711	1,729	1,549	1,798
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	▲194	0
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
	A.計(b+d)		1,711	1,711	1,729	1,549	1,798
	B.執行済額		1,710	1,710	1,728	1,548	1,718
	うち交付金充当額		1,368	1,368	1,382	1,239	1,374
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	95.6%
予算の状況の説明		当初計画通り、プロポーザルにより業者を選定し、事業を執行する事ができた。不用額80千円については、入札残及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休園によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	町内4幼稚園での専門的な体育指導の実施		目標 (実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
			実績 実施	実施	実施	実施	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	町立4幼稚園で専門講師による体育指導を行い、各園5歳児27回(2幼稚園は休園のため1回減)、4歳児9回実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	運動する楽しさを実感したか(80%以上)を含め、アンケートによる本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	96.16%	98.31%	93.14%	
			目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・運動する楽しさについて、園児350人中326人が体育遊びが好きと回答し(93.14%)、目標を上回る結果となった。 ・保護者へのアンケートでは93.75%の保護者が運動能力が上がったと実感しており、98.57%の保護者が本事業は良い取り組みだと回答を得た。このことから、本事業は保護者や園児からも高い評価を得ており、あり方についても評価されている。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・運動する楽しさを実感してもらえるよう、指導案を事前に各園と調整したり、実施の手順や各園の教諭によるサポートなどについても計画を立てることにより、園児に運動する楽しさを実感してもらえる取り組みとなった。また、前年同様教諭への指導(講習・実技)も行った。</p>	<p>・目標達成のために、運動ができた達成感や楽しさを実感してもらうような指導をしたり、各園と事前に調整を行うなど、現状に合った取り組みとなっていることから、改善の余地はないと考える。 ・教諭への指導(講習・実技)も継続して行い、普段の幼稚園教育の向上にも活かしてもらおう。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・今後もこれまで同様、専門的な知識を持つ受託事業者を選定し、その専門的な知識を活かした指導ができるよう教育委員会、各幼稚園、受託事業者との連携を図り、事業を実施していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
1,718	1,718	1,374	344	0

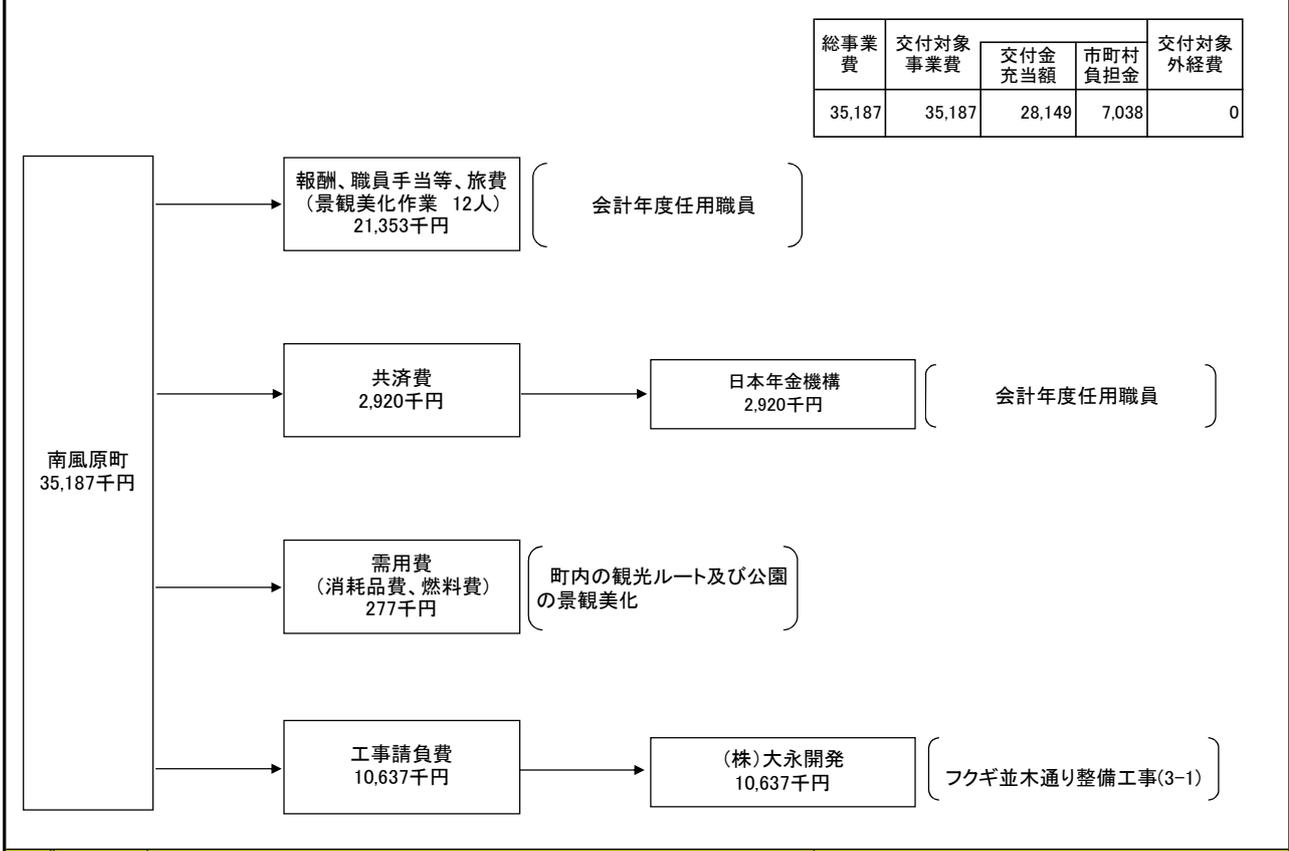


資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地方自治法施行令に基づく随意契約(プロポーザル実施)により実施しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額80千円は入札残及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休園によるものであり、適正な規模であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されており、適正であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	南風原町観光景観美化整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア	
担当部署	経済建設部 まちづくり振興課 経済建設部 都市整備課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり Ⅲ-1-(1)	
事業内容	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光ルートとなる道路及び公園等の美化整備を行う。また、琉球王朝時代の間切番所跡に植樹されているフクギ並木と間切番所跡の石碑までの散策道の整備を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,780	6,782	6,782	34,482	45,288
		(b) 予算現額	6,780	6,782	12,720	42,462	35,925
		(c) 増減額(b-a)	0	0	5,938	7,980	▲ 9,363
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	6,780	6,782	12,720	42,462	35,925
		B. 執行済額	6,559	6,650	13,492	42,417	35,187
		うち交付金充当額	5,247	5,320	10,794	33,933	28,149
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	96.7%	98.1%	106.1%	99.9%	97.9%
予算の状況の説明	・観光ルートの美化整備は12人で行うなど予算は計画通り執行し、事業を円滑に行う事ができた。 ・フクギ並木通りの整備にあたっては、購入する資材が資材価格調査の対象外になったことにより委託料500千円の減額、R2年度の実施設計業務の結果により当初計画額から工事費8,863千円を減額し整備を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	観光ルートの町道メンテナンス完了	目標	(L=12,600m)	(18,400m)	(メンテナンス完了)	(メンテナンス完了)	
		実績	L=12,600m	18,400m	メンテナンス完了	メンテナンス完了	
	公園6箇所の景観美化完了	目標	()	(公園6箇所)	(景観美化完了)	(景観美化完了)	
		実績		公園6箇所	景観美化完了	景観美化完了	
	フクギ並木の擁壁整備完了	目標	()	(L=40m)	(整備完了)	()	
		実績		L=40m	整備完了		
	フクギ並木通りの実施設計完了	目標	()	()	(実施設計完了)	()	
		実績			実施設計完了		
フクギ並木通りの整備完了	目標	()	()	()	(整備完了)		
	実績				整備完了		
達成状況説明	・景観美化作業員を12人雇用し、町道(18,400m)、公園(6箇所)、フクギ並木通り(40m)の整備、メンテナンス(草木の伐採等による景観美化の管理)を行うことで、町内の観光ルートの環境美化に努めた。 ・フクギ並木通りの工事は、実施設計で考慮した、フクギ群との一体化が図られた施設となっているかを意識しながら工事を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		80%	80%	80%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・道路美化に関するアンケートを行った結果、景観形成が図られたと思う割合が80%以上となっており、目標を達成する事ができた。						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ルートである町道や公園等については、メンテナンス箇所を効率的に計画し、恒常的にクリーンに保つ必要がある。 ・夏期においては、草木が著しく成長するため、場所によっては短期間で伐採が必要になることがある。 ・雑草の生育によりフクギ並木通りの景観が阻害されることが懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ルートの景観維持や、観光客の安心安全を確保するためにも重点的に関係施設周辺を点検し、年間を通して繁茂する植物を除草して景観美化を図っているが、夏場には間に合っていない状況である。今後は観光ルートである地域と連携して環境美化を行う必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・近年の観光は、観光施設にとどまらず、その地域の歴史や文化、暮らしを訪ねることが多いことから、美化整備が必要な箇所を再確認し、年間を通して効率的に観光ルートの景観及び安心安全を向上させられるよう取り組んでいく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である景観美化作業員は、町の基準で選定雇用しており妥当だと考えている。また、工事請負費の各契約については地方自治法施行令に基づく随意契約若しくは指名競争入札により業者を選定しており、妥当であったと考える。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は町の基準で積算されているので適正と考える。
—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、額の確定時において事業目的達成の観点から必要なものなのか等について書類により確認し適正であった。
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

資金の流れ、費目・用途の点検評価

市町村名		南風原町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-② ヒーローのまちづくり事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ			
担当部署名	経済建設部 産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備			
事業内容	本町の観光振興及び地域活性化のため、南風原町が輩出した多彩な人材の功績や経歴、所有品等の観光情報発信イベントなどを定期的に行い、観光客を本町へ誘導する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	7,310	7,310	7,440	7,436	7,436	
		(b)予算現額	7,310	7,310	7,440	7,436	7,436	
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d)繰越額	-	-	-	-	-	
		A.計(b+d)	7,310	7,310	7,440	7,436	7,436	
		B.執行済額	6,866	7,213	6,699	7,348	6,655	
		うち交付金充当額	5,493	5,770	5,359	5,878	5,324	
		次年度繰越額	0	0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	93.9%	98.7%	90.0%	98.8%	89.5%	
予算の状況の説明	当初計画していた事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響が通年に渡り発生し、イベントを開催予定するも中止等になり、執行額は減となっているが活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。							
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況						
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
		イベント開催:1回	目標	(1回)	(1回)	(1回)	(1回)	
			実績	4回	4回	3回	2回	
		脚本賞舞台化:1回	目標	(1回)	(1回)	(1回)	(1回)	
			実績	1回	0回(中止)	1回	1回	
達成状況説明	「イベント開催」については、飛び安里凧上げ大会等の各イベントが軒並み新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。また金城哲夫展は舞台化の劇と同時開催でヒーロー展と称した展示会の中で開催することができた。「脚本賞受賞作品の舞台化」は新型コロナウイルス感染症対策を行い、来場者を沖縄県イベントガイドラインよりも厳しく収容人数の3分の1に制限した上でを行い、YouTubeにてライブ配信を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数:3,250人	目標	()	(3,200人)	(3,250人)	(3,250人)	()
			実績		1,063人	11,210人	1,136人	
			目標	()	()	()	()	()
			実績					
		進捗状況説明	・イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数について、凧あげ大会の他舞台紹介を兼ねていたイベントを新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止することになった。金城哲夫展は舞台化の劇と同時開催でヒーロー展と称した展示会で286名だった。(上映会はヒーロー展で同時開催のため展示会人数に含む) ・新型コロナウイルス感染症対策として町広報誌を活用したイベント(観光クイズ)に27人が参加した。 ・舞台は来場者273名(収容人数505名を3分の1縮小し2日間開催)、ライブ配信視聴者550人で総計823名となった。					

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>【イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凧上げにおいてはコロナウイルス感染症拡大のため中止した。 ・金城哲夫展はヒーロー展と称した展示会を行い、会場を舞台会場に隣接する施設で行い、舞台開催日の前後に劇来場者が立ち寄れるようにした。 また、ヒーロー展の中で上映会を同時開催を行った。 <p>【脚本賞の舞台化に係る舞台来客数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台は新型コロナ感染症対策のため来場者を3分の1と大きく制限して開催した。 また同時にYouTube配信を行った。 	<p>【イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上映会は新型コロナウイルス感染症拡大下でも規模を大幅に縮小し開催することができた。次回以降、新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ実施規模を少しでも拡大できないか検証。 ・凧上げも同様に新型コロナウイルス感染症対策をした上で人数を大幅に縮小して開催できるか等の検証。 ・金城哲夫展は他町偉人関連と同時開催することで、展示内容の充実化を行った。次回は来場者増を見込めるよう、町内外を問わず大きな会場や野外等の開催の検証が必要で、ウェブ資料館においてもそのPRが必要と思われる。 <p>【脚本賞の舞台化に係る舞台来客数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脚本賞の受賞作品の舞台化をほぼ行うことができたため、町偉人(ヒーロー)を題材にした舞台の開催を継続していく。 ・脚本賞の受賞作品の舞台化をほぼ行うことができたため、町偉人(ヒーロー)を題材にした舞台の開催を継続していく。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための新たな生活様式に対応した舞台化の検討を行い、YouTube配信においてはさらなるPRが必要と思われる。

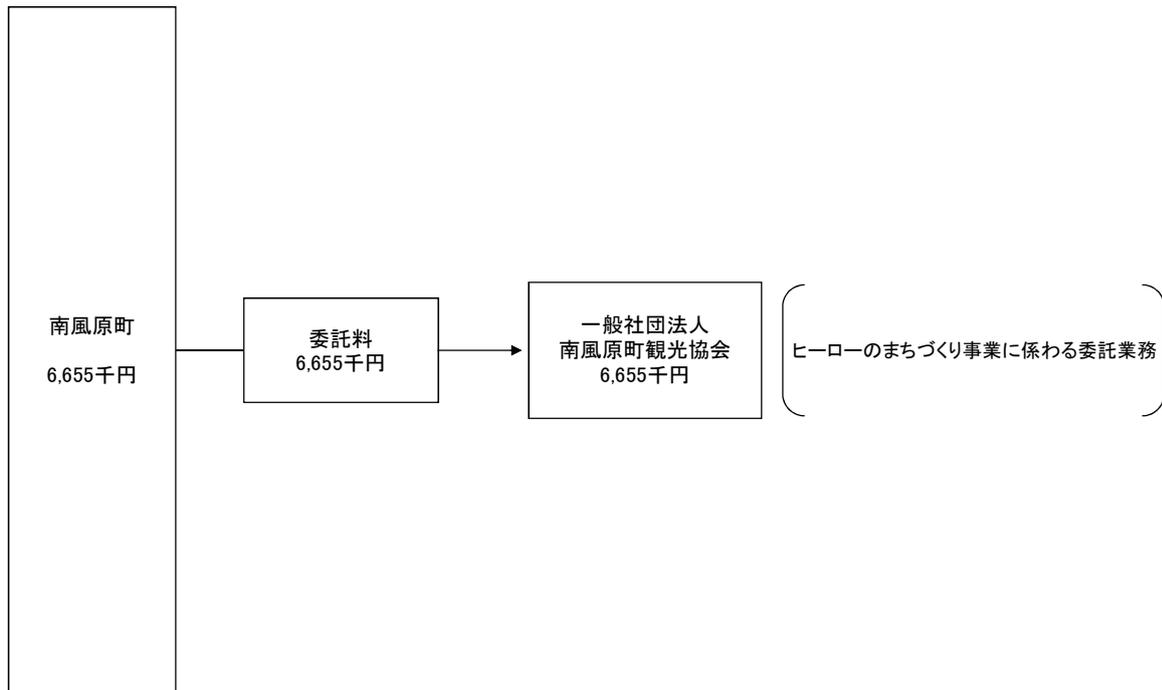
今後の取り組み方針

<p>【イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上映会や金城哲夫展、舞台開催のイベント実施時に新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ、集客増対策を行う。特に上映会や金城哲夫展は町内外を問わず効果的な場所にて開催を計画する。 ・金城哲夫アーカイブスを活用し、本町を”ヒーローのまち”として認知してもらう取り組みを強化する。 <p>【脚本賞の舞台化に係る舞台来客数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脚本賞に限らず、町偉人(ヒーロー)を題材にした舞台の開催を行い、ヒーローのまちづくりの取り組みを強化する。また、新型コロナウイルス感染症対策の一環でもあるYouTube配信を随時継続していく。
--

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

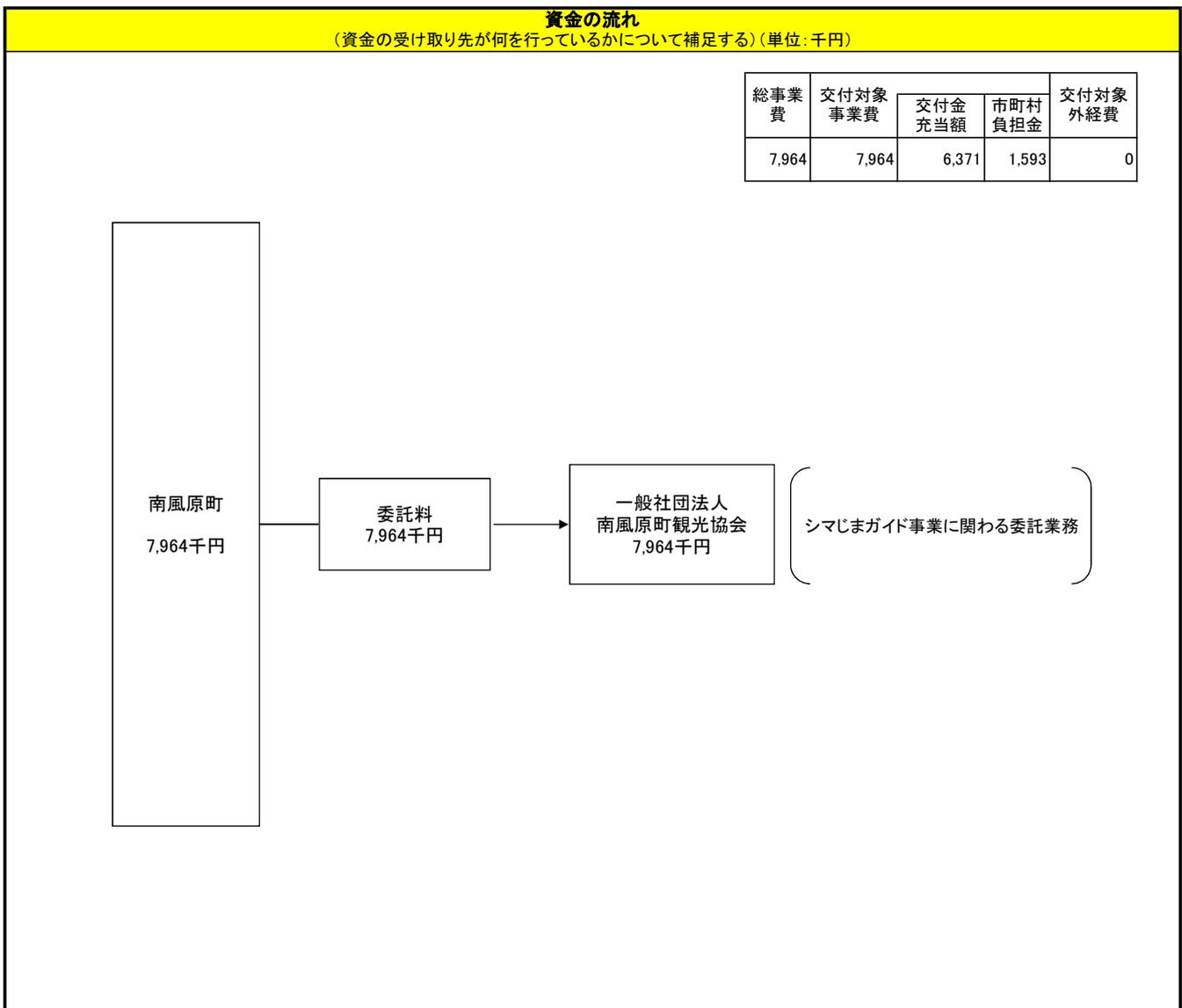
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
6,655	6,655	5,324	1,331	0



資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○来訪者への観光案内や誘客を目的として設立された団体であること、及び観光の情報発信は何よりも新鮮な情報の提供が求められ、観光客のニーズを集約できる唯一の団体であることから、観光協会へ随意契約を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業内容に基づく事業執行を行い、また支出先の選定は、上記説明のとおり妥当であると判断していることから予算規模は適正であると判断する。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、額の確定時において事業目的達成の観点から必要なものなのか等について書類により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-③ シマジマガイド事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ			
	経済建設部 産業振興課			事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	観光客の受入体制の整備		
担当部署名				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)			
事業内容	住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出するとともに観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
		(a)当初予算額	8,321	10,448	10,521	10,516	10,516	
	(b)予算現額	8,321	10,448	10,521	10,516	10,516		
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0		
	(d)繰越額	-	-	-	-	-		
	A.計(b+d)	8,321	10,448	10,521	10,516	10,516		
	B.執行済額	7,179	9,873	8,096	8,492	7,964		
	うち交付金充当額	5,743	7,898	6,476	6,793	6,371		
	次年度繰越額	0	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	86.3%	94.5%	77.0%	80.8%	75.7%		
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画していた事業は年度末の新型コロナウイルス感染症の影響によるツアー中止等もあったが活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ・当初より採用予定であった臨時職員の採用ができず、中途採用となり、不用額が生じた。 						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	ガイド養成新規2名	目標	(2名)	(2名)	(2名)	(2名)		
		実績	0名	4名	2名	2名		
	シマジマガイド開催12回	目標	(12回)	(12回)	(12回)	(12回)		
実績		17回	12回	4回	11回			
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・地域ガイド研修を4回開催しガイドのスキルアップを図った。その結果2人の新規のガイド養成を行うことができた。 ・シマジマガイドは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により数回の延期・中止があったが、日程を変更することで短期間に集中して行い11回開催することができた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	シマジマガイド参加者:1,700人		目標	()	(1,460人)	(1,700人)	(1,700人)	()
			実績		882人	1,147人	149人	
			目標	()	()	()	()	()
			実績					
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ツアー参加者122人、オンラインでのツアー参加者11名、イベント参加者16人の合計149人という結果になり目標を達成することができなかった。 						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・シマじまガイドの開催回数や参加者をさらに増やしたいとが、周知拡大が不足している。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのツアー中止や参加者数制限もあり、参加者が増えなかった。ツアーのPRが不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的に新規ガイドを募集・育成する必要がある。 ・新規参加者へのPR及びリピーターを増やすためガイドの質の向上、周知拡大対策を図る。 ・新型コロナウイルス感染症拡大下で参加者に制限が発生する中、一度のツアー等の参加者数上限を変更できないか検証。 ・事業のPRの推進を図る。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・既存のガイドメニューの充実・強化と新規メニューの開発を行いつつ、パンフレットをHPに掲載するなど事業の周知拡大を行う。 ・ガイド研修について、一部オンラインで研修を受講できるようなコンテンツ作りを行う。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための新たな生活様式に対応したツアー・イベントを行うため、YouTube配信等でイベント・ツアー状況や字別パンフレットをPRする。 		



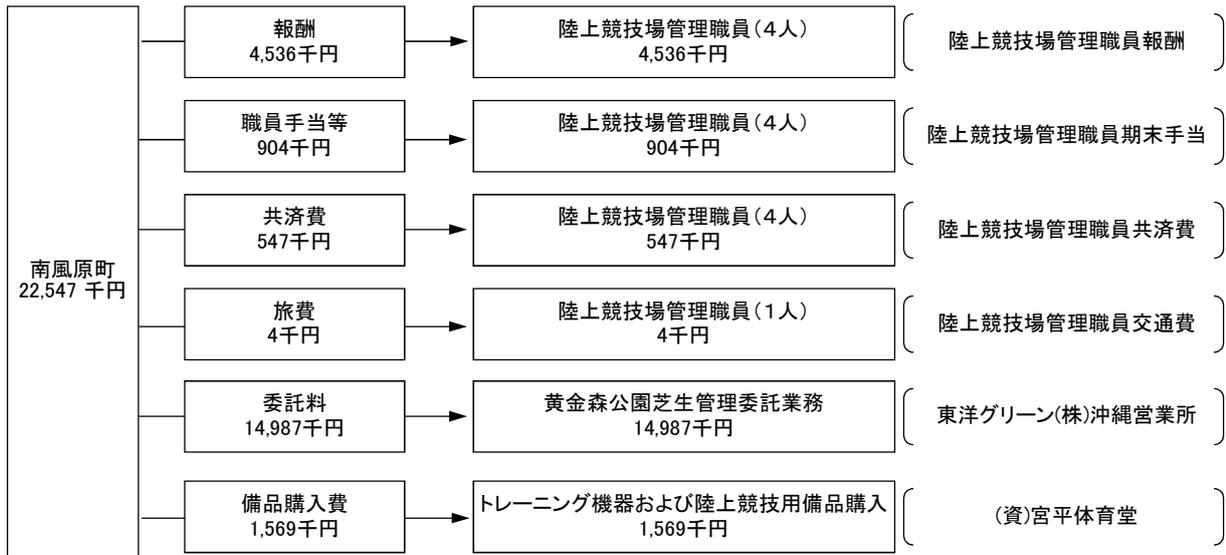
資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○来訪者への観光案内や誘客を目的として設立された団体であること、及び観光の情報発信は何よりも新鮮な情報の提供が求められ、観光客のニーズを集約できる唯一の団体であることから、観光協会へ随意契約を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業内容に基づく事業執行を行い、また支出先の選定は、上記説明のとおり妥当であると判断していることから予算規模は適正であると判断する。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、額の確定時において事業目的達成の観点から必要なものなのか等について書類により確認し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④ 黄金森公園スポーツ施設活性化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
	担当部署名	教育部 教育総務課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及び、Jリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のスポーツ合宿受入体制等の整備を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	39,170	29,617	10,000	20,168	24,583
	(b) 予算現額	39,170	26,850	10,000	20,168	24,583	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲2,767	0	0	0	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	39,170	26,850	10,000	20,168	24,583	
	B. 執行済額	26,291	26,269	10,007	20,026	22,547	
	うち交付金充当額	21,032	21,015	8,006	16,021	18,037	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	67.1%	97.8%	100.1%	99.3%	91.7%	
予算の状況の説明	・R3年度より事業拡大により、前年度予算と比較し4,315千円の増額となっている。 ・執行残2,036千円については会計年度任用職員が雇用できなかった期間があったことによる残と、備品購入における入札残となっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・陸上競技場及び野球場芝生の管理委託業務の完了	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	一部実施	実施	実施	
	・黄金森公園陸上競技場管理嘱託員4名の配置	目標	(実施)	(実施)	(4名)	(4名)	
実績		実施	一部実施	4名	4名		
・トレーニング機器及び陸上競技用備品整備完了	目標	()	()	()	(実施)		
	実績				実施		
達成状況説明	Jリーグキャンプ受入のため、練習場芝生整備を実施した。また、陸上競技場管理嘱託員の配置によりスポーツ施設が充実し、サッカーJリーグチームの春季キャンプ及び県外大学等の陸上競技合宿を誘致した。また、トレーニング機器及び陸上競技場備品を整備したことにより受け入れ体制が強化できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・陸上、サッカー等合宿利用者数:1,300人	目標	()	(1,500人)	(1,800人)	(1,300人)	()
		実績		663人	757人	721人	
	・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数:6,000人	目標	()	(10,000人)	(7,800人)	(6,000人)	()
実績			約6,070人	0人	0人		
進捗状況説明	・合宿利用者数については、サッカーJリーグチーム等の春季キャンプ69人、県外大学等の陸上競技合宿で652人が利用した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により無観客でのキャンプ開催となったため、来場者数は0人となった。						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿利用団体数は、新型コロナウイルス感染症の影響により昨年度の19団体から11団体へと減少となった。全体的には利用人数や利用期間が減少する結果となったが、利用人数に大幅な減少が見られないのは、昨年から2回目となる合宿利用団体が大人数での利用があったためである。 ・新たな合宿種目であるラグビー合宿についても調整を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により合宿の実現には至らなかった。 ・今年度は無観客での開催となったが、有観客の際の感染症対策や、教室などを含めた交流など新たな取り組みも検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿利用団体の要望など、細かくヒアリングを行い連携することでリピーターとなることに繋がっている。引き続き要望を聞き取り、施設環境をより充実させることで継続的な合宿利用に繋げることができる。 ・コロナ禍においてもスポーツ合宿が実施できるよう、感染症対策をルール化するなど、コロナ禍における受入体制を整える必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿利用団体と細かく調整を行い、利用する際の要望や、利用後の反省点などを踏まえ、施設環境整備も含めた受け入れ体制を充実させていくことにより、継続的な合宿利用に繋げていく。 ・新たな合宿種目であるラグビー合宿の実現に向け、施設の充実をPRするとともに、ラグビーチーム関係者と連携をとりながら推進していく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
22,547	22,547	18,037	4,510	0



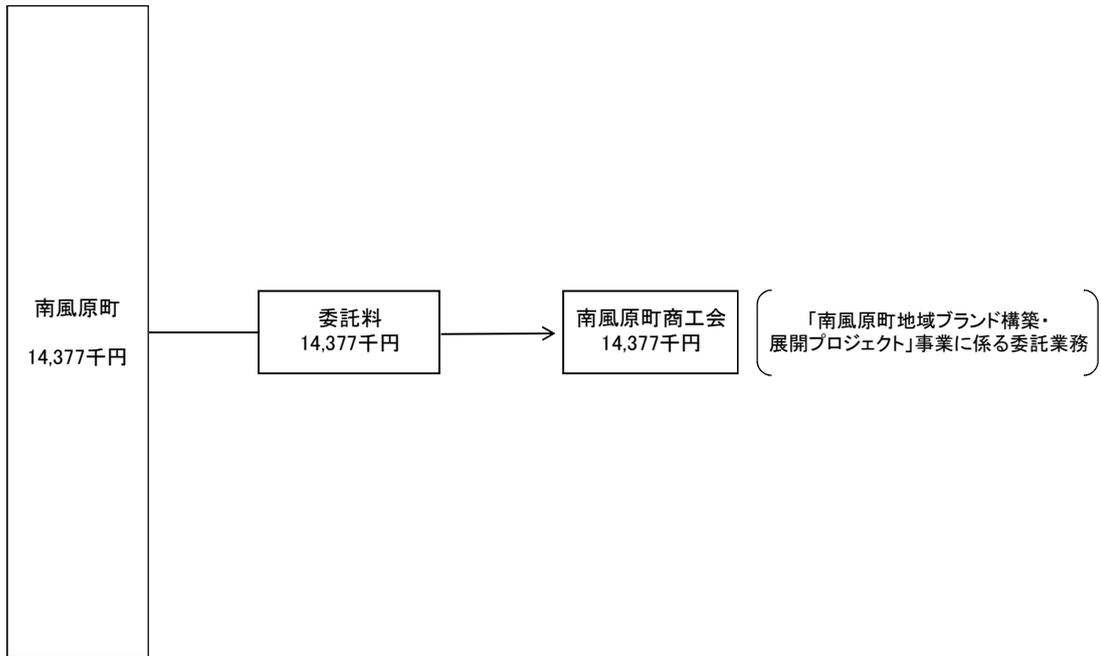
資金の流 れ、費 目 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○各契約等については地方自治法施行令に基づく随意契約及び指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。 ○事業内容に基づく事業執行を行い、支出先の選定についても妥当であったことから、予算規模は、適正であったと考える。 ○費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されており、適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤ 南風原町地域ブランド構築・展開プロジェクト			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-ア		
	担当部署名	経済建設部 産業振興課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ものづくり産業の戦略的展開
事業内容		本町の魅力の発信及び特産品として認証した商品の販売数増加を図るため、町内事業者の商品開発やブラッシュアップ等を支援し、「はえばる良品」の認定及び認定商品の販路開拓を図る。					
	効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)					
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	18,780	15,000	15,000	14,993	14,993
	(b)予算現額	18,780	15,000	15,000	14,993	14,993	
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	18,780	15,000	15,000	14,993	14,993	
	B.執行済額	18,779	14,999	14,531	14,047	14,377	
	うち交付金充当額	15,023	11,999	11,624	11,237	11,501	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	96.9%	93.7%	95.9%	
予算の状況の説明		販路開拓やブランド認証制度の運用業務等を委託し、ほぼ予定通り事業執行することができたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、予定していた県外出展が中止となり、予算執行率が低下した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	町内事業者を対象に商品開発に関するワークショップの開催(5回)	目標	()	(5回)	(5回)	(5回)	
		実績		6回	15回	5回	
	ブランド認証制度の構築・運用	目標	(構築・運用)	(構築・運用)	()	()	
		実績	構築・運用	構築・運用			
	28年度に認証した商品のPR	目標	(実施)	(実施)	()	()	
		実績	実施	実施			
	優れた特産品の町内ブランド「はえばる良品」の認証(2件)	目標	()	()	(2件)	(2件)	
		実績			2件	9件	
特産品の販路開拓(テスト販売出典等5回)	目標	(5回)	(5回)	(5回)	(5回)		
	実績	12回	4回	5回	6回		
販路開拓セミナーの実施(6回)	目標	(6回)	(6回)	(6回)	(6回)		
	実績	13回	6回	6回	6回		
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発に関するワークショップを5回開催した。 ・南風原町地域ブランド選定委員会を開催し、9品を「はえばる良品」として新規認定した。 ・販路開拓、拡大、テスト販売については、県内出展を6回実施し、テスト販売を行い販路開拓、拡大を図った。県外出展も予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止となった。 ・販路開拓セミナーは、県内のパイヤー4名を招聘し、6回開催した。 					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	はえばる良品の販売個数増 びよびよシフォン4,486個	目標	()	(5,456)	(7,560)	(4,486)	()
		実績		4,272	4,124	5,082	
	はえばる良品の販売個数増 ゆめかなえぼしバウンドケーキ473個	目標	()	(429)	(336)	(473)	()
		実績		450	480	72	
	はえばる良品の販売個数増 灘しカボチャ使って味わうスープの素2,100個	目標	()	(1,058)	(1,890)	(2,100)	()
		実績		2,000	2,500	2,100	
	はえばる良品の販売個数増 はえばるのまきも95個	目標	()	(63)	(87)	(95)	()
		実績		90	100	105	
	はえばる良品の販売個数増 ウオッチナー116個	目標	()	(105)	(105)	(116)	()
実績			110	120	70		
はえばる良品の販売個数増 SANGOくっしょん803個	目標	()	(630)	(756)	(803)	()	
	実績		640	800	434		
はえばる良品の販売個数増 沖縄キビまる豚1,260個	目標	()	(420)	(1,050)	(1,260)	()	
	実績		1,200	1,500	1,570		
進捗状況説明		成果目標に設定した7品目中4品目で目標を達成できた。					

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言等の発令により、消費者の外出自粛、店舗の時短営業等により販売数が減少し、3商品について目標を達成することが出来なかった。</p>	<p>・今後はどのように「はえばる良品」を販売していくのか、商品の更なるブラッシュアップと販路開拓および周知活動が課題となる。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>・これまでの地域ブランド認定商品および、町内事業者の既存商品の製造ラインや販売方法等の課題を専門家を通し改善することで、販路拡大を図り、南風原町のPRおよび町内事業者の売上向上を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
14,377	14,377	11,501	2,876	0



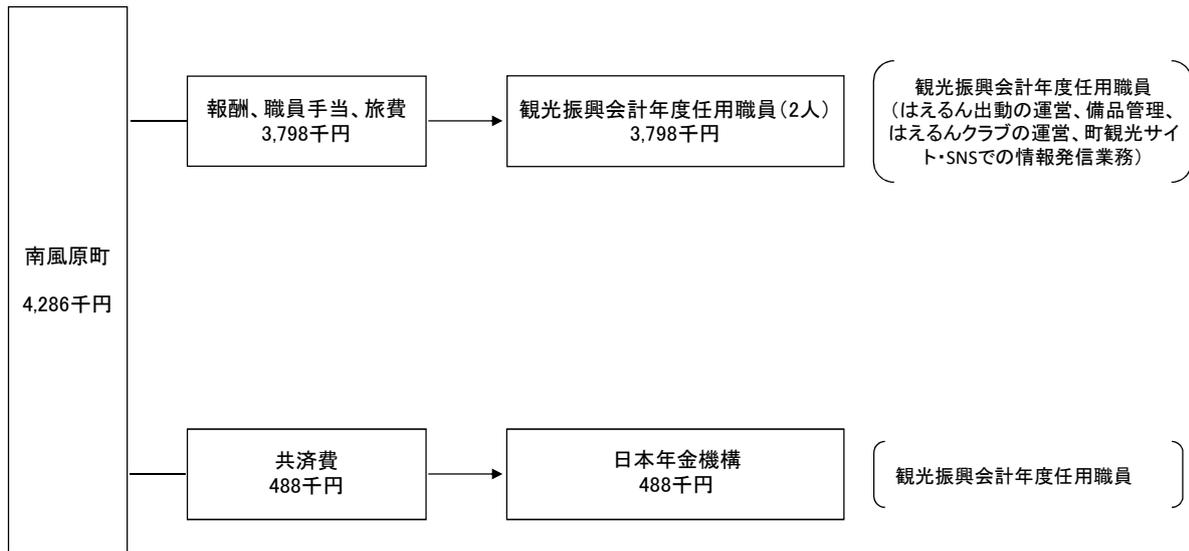
資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○随意契約により委託した南風原町商工会は、商工業の総合的な改善発達を図るための組織として設立された町内唯一の地域経済団体であり、地域経済に精通し、町の歴史背景や地域性、地域資源を十分理解している組織でもあり、本業務の遂行に必要な多くの町内事業者との広範なネットワークも有していることから、妥当であると考えます。</p> <p>○予算規模について、出店予定だった「ありんくりん市」が新型コロナウイルス感染症対策の影響で規模縮小となり、オンライン出展となった。また、予定していた販路開拓セミナーが1件中止になったことを受け、不用額が発生した。</p> <p>○費目・用途については、額の確定時において事業目的達成の観点から必要なものなのか等について書類により確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥ 南風原町観光PR促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	経済建設部 産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
III-1-(1)							
事業内容	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、はえるんや野菜のお友達を活用し、県内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	7,318	3,360	3,360	4,428	4,914
	(b)予算現額	7,318	3,360	3,360	4,428	4,914	
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	7,318	3,360	3,360	4,428	4,914	
	B.執行済額	7,185	3,360	3,360	4,398	4,286	
	うち交付金充当額	5,748	2,688	2,688	3,518	3,429	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	98.2%	100.0%	100.0%	99.3%	87.2%	
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント自粛等により活動目標は下回ったものの、町内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施するなど、当初計画していた事業内容を概ね実施し適正に予算執行することができた。 年度途中に担当会計年度任用職員が退職し、不用額が生じた。 						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	はえるん等利用数:50件	目標	()	()	(50件)	(50件)	
		実績			40件	28件	
イメージキャラクターによる観光PR活動(1年間で100回)	目標	(100回)	(100回)	(100回)	(100回)		
	実績	70回	58回	34回	43回		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> はえるん等利用数は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で前年度より大きく減少した。 イメージキャラクター『はえるん』を活用した観光PR活動については、前年以上に新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント自粛等もあり目標を達成できなかったが、自らイベント等を企画・開催することで観光PR活動についてはその件数を下支えすることができた。 町内や県内の各種イベントに参加して南風原町のPRを行った。また、はえるんの認知度を町内から広めていくため、さらに観光協会主催のYouTubeへの参加等を行った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	はえるん等利用申請数:50件	目標	()	(50件)	()	()	()
		実績		27件			
	観光サイトアクセス数:207,500件	目標	()	(207,500件)	(207,500件)	(207,500件)	()
実績			141,297件	106,325件	109,579件		
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりイベントの開催数が減ったことで目標には届かなかったが、自らイベント等を企画・開催する事によりSNSを活用し、観光サイトを案内・PRすることで前年より微増することができた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、イベントの開催数が減り通年において、はえるん等利用申請数、イメージキャラクターによる観光PR活動、観光サイトアクセス数ともに成果目標を下回った。特にはえるん等利用数が大きく減少している。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大下でも一定の成果をあげるために、新たな生活様式でのイベント出演や、オンラインでの活動に取り組む必要がある。また、はえるん等利用申請件数が大きく落ち込んだため、その対策を行う必要がある。 依頼の対応のみでなく自ら情報発信することが必要である。 観光サイトにおいて情報が一部古くなっているため、リニューアルを行う。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町観光協会とのタイアップ動画の公開など、オンラインでの活動による利用申請件数、観光サイトの充実を図る。 新型コロナウイルス感染症対策を行ったイベント等を自ら企画、運営を行う。また商工会や農協等の各種団体と協力して町特産品や観光関連のPRを実施する。 上記の取組をSNS等で発信することにてアクセス数の向上を目指す。 観光サイトにおいて情報が一部古くなっているため、リニューアルを行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
4,286	4,286	3,428	858	0



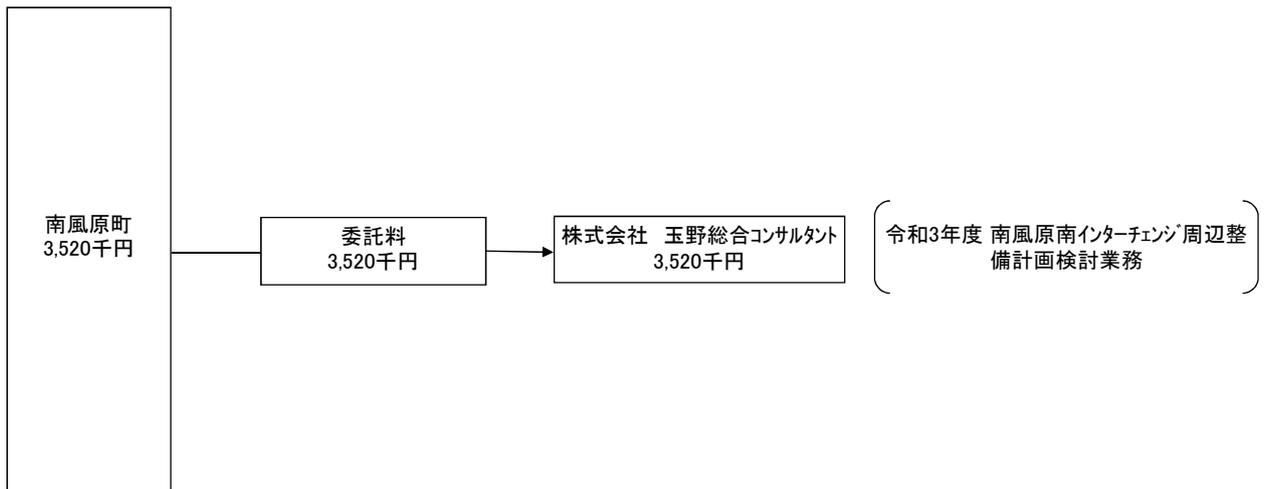
資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員は面接によりしかるべき人物を採用しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○年度途中で会計年度任用職員の退職したことによる不用額が生じたが、適正な予算規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑦ 南風原南インターチェンジ周辺企業集積推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(8)-(イ)			
	担当部署	経済建設部 まちづくり振興課	事業実施(予定)年度	令和1~令和3年度	商店街・中心市街地の活性化と商業の振興		
事業内容		企業誘致等による産業振興の発展を図るため、南風原南インターチェンジ周辺の特性を活かした土地利用計画を基に津嘉山地区の整備計画を策定する。					
	効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度以降)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		(a)当初予算額	4,224	13,420	3,982		
	(b)予算現額	4,224	12,650	3,982			
	(c)増減額(b-a)	0	▲770	0			
	(d)繰越額	-	-	0			
	A.計(b+d)	4,224	12,650	3,982			
	B.執行済額	3,850	12,650	3,520			
	うち交付金充当額	3,080	10,120	2,816			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	91.1%	100.0%	88.4%			
予算の状況の説明		不用額▲462千円は入札差金によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	津嘉山地区実現化方策の策定	目標	()	()	(策定)	()	
		実績			策定		
	準備委員会設立支援(意見交換会・勉強会の開催)	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			実施		
	上位計画の整理	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	地権者及び地域との意見交換会、勉強会の開催	目標	(実施)	(実施)	()	()	
		実績	実施	実施			
南風原南インターチェンジ土地利用基本計画書の策定	目標	(策定)	()	()	()		
	実績	策定					
南風原南インターチェンジ周辺土地利用計画(素案)策定完了	目標	()	(策定)	()	()		
	実績		策定				
達成状況説明		・南風原南インターチェンジ周辺の津嘉山地区について整備計画(津嘉山地区実現化方策)を策定する事が出来た。 ・関係地権者と意見交換会や勉強会を開催し、(仮称)まちづくりを考える会(任意組織)を立ち上げる事が出来た。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(4年度)
	南風原南インターチェンジ周辺(津嘉山地区)実現化方策策定完了	目標	()	()	()	(策定)	()
		実績				策定	
	南風原南インターチェンジ土地利用基本計画書策定完了	目標	()	(策定)	()	()	()
		実績		策定			
	南風原南インターチェンジ周辺土地利用計画(素案)策定完了	目標	()	()	(策定)	()	()
		実績			策定		
	【R4成果目標】 企業誘致2社以上	目標	()	()	()	()	(2社)
		実績					
	進捗状況説明		本地区の地理的特性を活かし、まちづくりの推進における課題を踏まえた上で関係地権者との意見交換会や勉強会を開催し、津嘉山地区の整備計画(津嘉山地区実現化方策)の策定を行う事ができた。				

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・津嘉山地区については、企業誘致を図る土地利用推進の中で地権者の中には自己利用を望む方も見られたため、勉強会等を重ね理解を求める必要がある。</p>	<p>・(仮称)まちづくりを考える会が発足されたため、今後は整備計画をもとにメンバーを中心に意見をとりまとめる必要がある。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>・津嘉山地区では地権者の機運も高まり、任意組織の「(仮称)まちづくりを考える会」が発足された。今後は、地区の特性を活かした土地利用の実現に向けて組織を中心に具体的な事業化に向けての取り組みを行い企業誘致、産業振興の発展に繋げていく。</p> <p>・照屋地区については、具体的に関係機関と協議・調整を図り都市計画変更に向けた手続きを進めていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,520	3,520	2,816	704	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は、仕様書に基づき必要な費用を計上しており、適正な規模であった。 ○費目・用途については、仕様書のとおり実施されているので妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町
------	------

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑧ 南風原北インターチェンジ周辺企業集積推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(8)-(イ)
担当部課名	経済建設部 まちづくり振興課	事業実施(予定)年度	令和2~令和3年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	商店街・中心市街地の活性化と商業の振興
			Ⅲ-1-(ア)

事業内容 企業誘致等による産業振興を図るため、南風原北インターチェンジ周辺の土地及び建物に関する権利調査や意向調査等を反映させた土地利用計画(案)を策定する。

効果発現年度 当年度 後年度(令和5年度以降)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	4,895	9,823			
	(b) 予算現額	4,510	9,823			
	(c) 増減額(b-a)	▲385	0			
	(d) 繰越額	-	-			
	A. 計(b+d)	4,510	9,823			
	B. 執行済額	4,510	9,130			
	うち交付金充当額	3,608	7,304			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	92.9%			
	予算の状況の説明	不用額▲693千円は入札差金によるものである。				

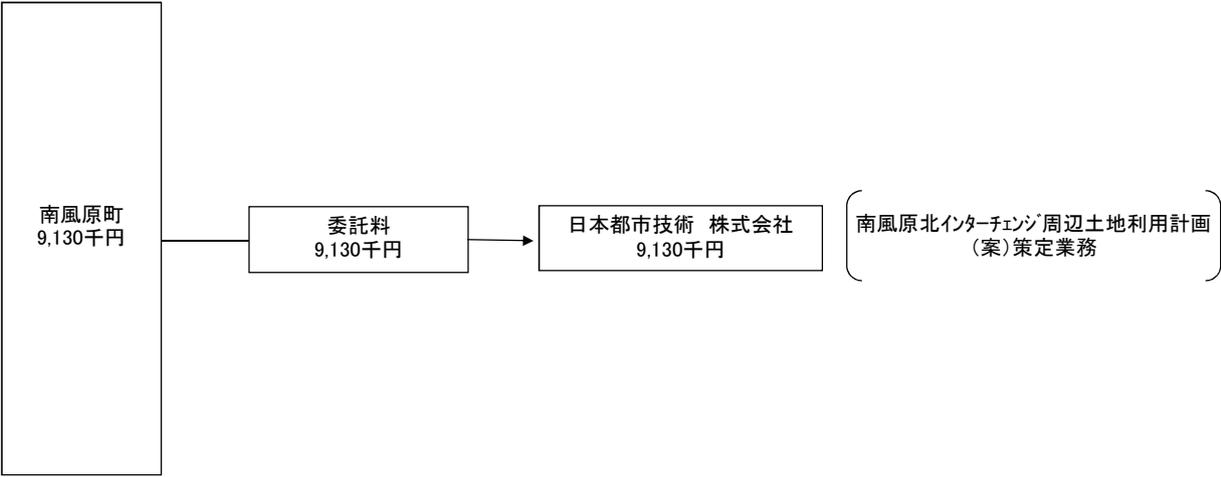
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
前提条件の整理 (まちづくりの現状・課題の整理等) ・区域検討を含む土地、権利調査 ・関係地権者意向調査 ・関係機関との協議支援	目標	()	(実施)	()	()
	実績		実施		
土地利用計画(案)の策定	目標	(実施)	(実施)	()	()
	実績	実施	実施		
計画条件の整理完了	目標	(実施)	()	()	()
	実績	実施			
地権者及び地域との意見交換会、勉強会の開催	目標	(実施)	()	()	()
	実績	実施			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・検討区域を含む土地、権利者調査を実施し、関係地権者の意向調査を実施する事が出来た。 ・土地利用計画(案)を策定する事が出来た。 				

成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(5年度)	
	南風原北インターチェンジ周辺土地利用計画(案)の策定完了	目標	()	(策定)	(策定)	()	()
		実績		策定	策定		
	【R5成果目標】 企業誘致2社以上	目標	()	()	()	()	(2社)
実績							
進捗状況説明	本地区の地理的特性を活かし、上位計画の位置づけ、関係法令の整理、まちづくりの推進における課題を踏まえた上で、土地利用計画(案)を策定できた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な手法、事業導入の検討を含め、区域を分け検討する必要がある。 関係地権者意向にばらつきがあるため、勉強会等を重ね土地利用計画に理解を深め、地権者の組織化を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 土地利用計画の実現に向けて具体的な手法、事業導入の検討を含め、土地利用関連補助メニューを整理する。 意向調査の結果を踏まえ、協力が得られる意見も多く見られたため、そのメンバーを中心に機運を高めていく。
今後の取り組み方針		
<p>土地利用計画(案)を基に検討区域を分け、それぞれの区域毎に地権者の組織化が重要と考える。関係地権者の意向調査等を踏まえ全体計画の中で早期実現可能な区域、事業手法等を精査し具体的な手法も検討を行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
9,130	9,130	7,304	1,826	0



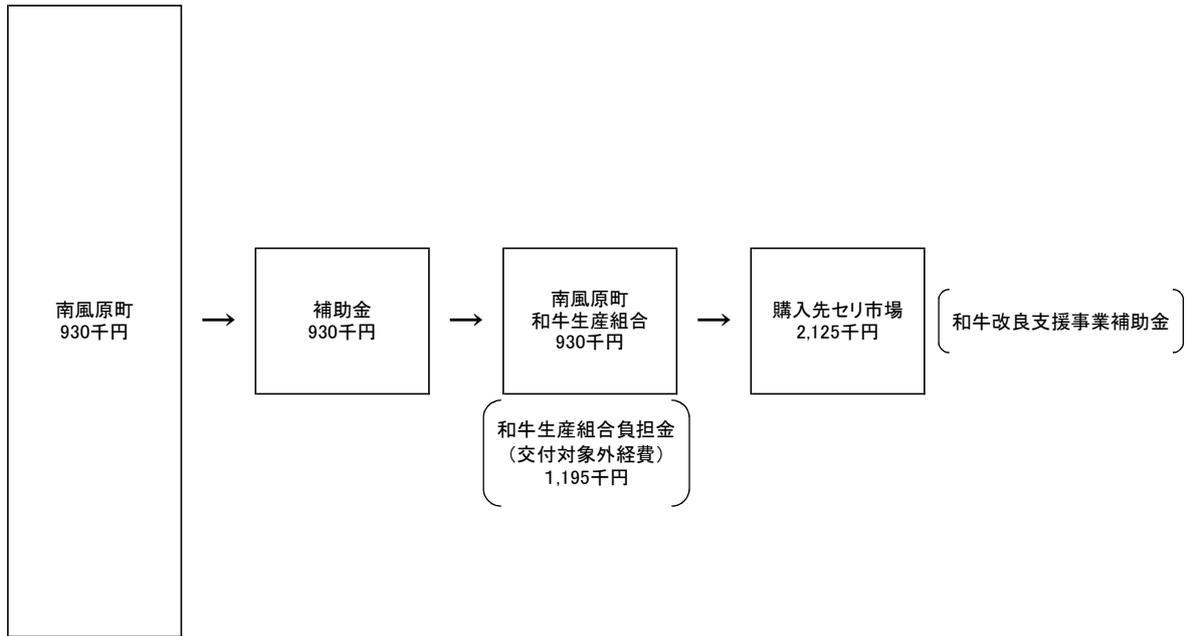
資金の流 れ、費目 の点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は、仕様書に基づき必要な費用を計上しており、適正な規模であった。 ○費目・用途については、仕様書のとおり実施されているので妥当であったと考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑨ 南風原町和牛改良支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部署名	経済建設部 産業振興課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の確立		
事業内容	農家の経営安定化に向け、子牛品質の向上による高値での出荷が行えるよう優良母牛導入経費の一部を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		2,000	2,000		2,000	1,000	
		2,000	2,000		1,000	930	
		0	0		▲1,000	▲70	
		-	-		-	-	
		2,000	2,000		1,000	930	
		1,905	1,772		954	930	
		1,524	1,418		763	744	
		0	0		0	0	
		95.3%	88.6%		95.4%	100.0%	
予算の状況の説明	予算減額70千円は、導入牛が当初計画より安価で落札できたことによる。計画どおり優良繁殖雌牛を2頭導入できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		優良母牛導入(2頭)の導入支援完了	目標 (4頭)	()	(2頭)	(2頭)	
		実績	4頭		2頭	2頭	
	目標	()	()	()	()		
実績							
達成状況説明	計画どおり優良繁殖雌牛2頭の導入を支援することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		導入した優良母牛から生まれた子牛と導入牛以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合(牝)104%、(去勢)117%以上	目標 ()	()	(牝)104% (去勢)117%	(牝)104% (去勢)117%	()
		実績			(牝)96.39% (去勢)99.56%	(牝)112.56% (去勢)111.97%	
		目標	()	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	・成果目標について去勢牛は発育不良の個体が平均販売価格を押し下げたため達成できなかったが、牝牛は達成した。 【導入対象農家の子牛平均落札価格実績(南部家畜市場提供)】 導入牛 (A)704,963円(牝5頭)、780,578円(去勢10頭) 非導入牛 (B)626,315円(牝16頭)、697,129円(去勢18頭) 価格差(A/B)=112.56%(牝)、111.97%(去勢)						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・新型コロナウイルス感染拡大による観光需要減等の影響は引き続きあるが、子牛落札価格は前年度から上昇した。	・昨年に比べて出荷頭数の増加及び価格差目標実績の改善がみられるため、引き続き飼養管理技術向上、優良母牛の更新が必要である。
今後の取り組み方針		
引き続き関係機関と協力して飼養管理技術の向上と優良母牛の更新を図るため農家を支援していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,125	930	744	186	1,195



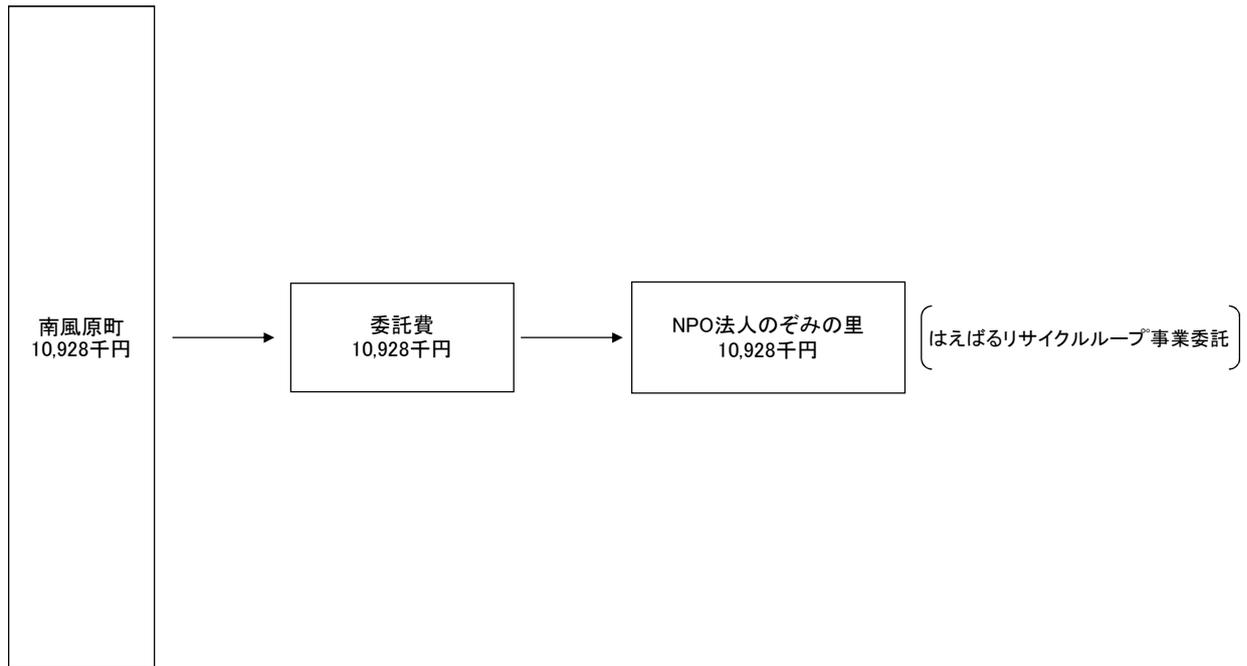
資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は町内農家で構成された団体であり、選定は妥当であると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額はあったものの、セリによる落札であるため妥当な規模の範囲内と判断した。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である農家は総事業費の5割以上を負担しており、事業内容からして妥当であると判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即した必要なものであると判断した。

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① はえばるリサイクルループ事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア		
	担当部署名	総務部 住民環境課	事業実施(予定)年度		平成24～令和3年度	3Rの推進	
事業内容	町内で発生する食品廃棄物を分別回収し、それらで養豚用飼料や堆肥を生産する。また生産された飼料で養豚を育て販売し、食品廃棄物の循環を構築する。					Ⅲ-10-(1)	
						沖縄振興基本方針 該当箇所	
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	14,200	13,695	14,210	12,166	10,937
	(b) 予算現額	14,200	13,695	14,210	12,166	10,937	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	14,200	13,695	14,210	12,166	10,937	
	B. 執行済額	14,150	13,695	13,021	12,161	10,928	
	うち交付金充当額	11,320	10,956	10,416	9,728	8,742	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.6%	100.0%	91.6%	100.0%	99.9%	
予算の状況の説明		食品廃棄物の循環構築業務を委託し、事業計画のとおり執行することができた。					
活動目標(指標) 及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
	町内で排出される食品廃棄物を回収、分別し、飼料や堆肥を生産することで、循環構築をはかり、生ごみ(家庭系)の年間資源化の増を目指す。	目標	(30t)	(30t)	()	()	
		実績	30t	29t			
	町内で排出される食品廃棄物を回収、分別、飼料・堆肥の生産完了	目標	()	()	(生産完了)	(生産完了)	
実績				生産完了	生産完了		
達成状況説明	計画通りに食品廃棄物を回収、分別、飼料・堆肥を生産することができた。						
成果目標(指標) 及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	生ごみ(家庭系)の年間資源化量:29t	目標	()	(30t)	(30t)	(29t)	()
		実績		29t	30t	31t	
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	目標の量を資源化することができた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染拡大の影響等により外食をする機会が減少し、家庭から排出される資源化量が増え目標達成に繋がったと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源化量の目標を達成しており改善余地はないと考える。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄振興特別推進交付金を活用しての本事業は最後になるが、今後も町内で発生する廃棄物の減量に取り組む。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
10,928	10,928	8,742	2,186	



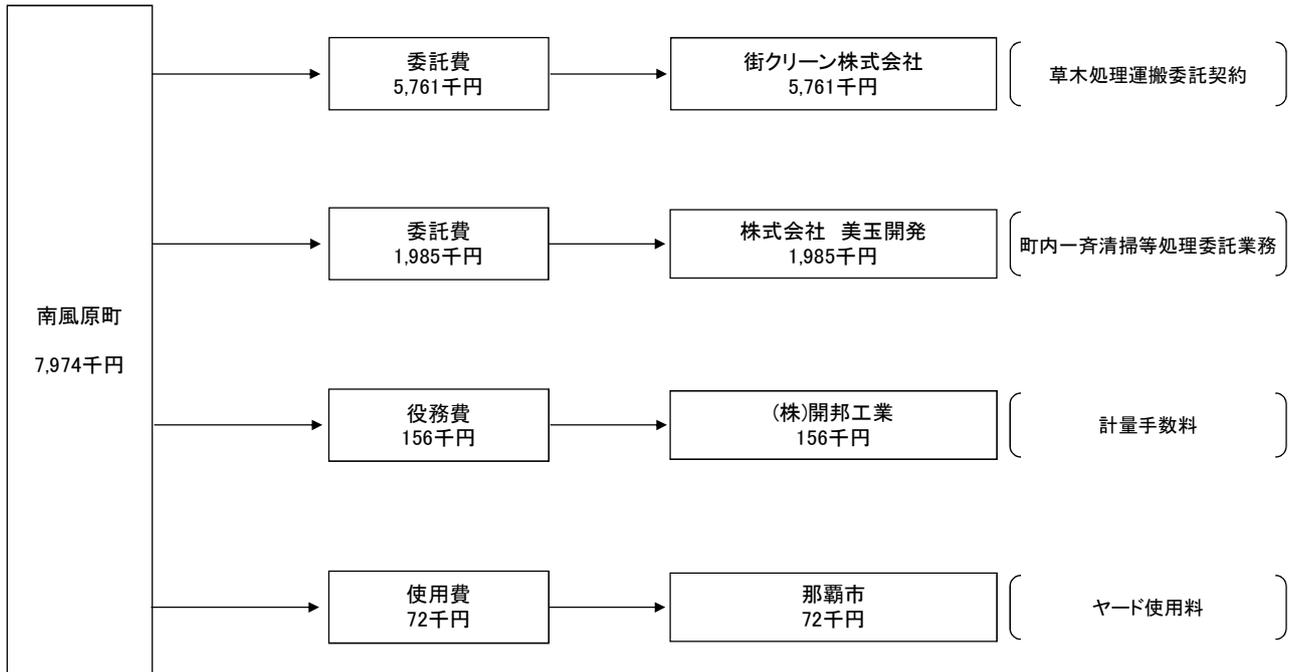
資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○本事業は町内における食品廃棄物の循環構築を目的としており、町内で対応できる事業者が1事業者であるため地方自治法施行令第167条の2第1項第2号による随意契約であり妥当である。 ○予算執行率は99.9%で適正であった。 ○費用・使途も事業にかかる経費で真に限定的である。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-② 草木リサイクル事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア		
	総務部 住民環境課				事業実施 (予定)年度 平成24~令和3年度	3Rの推進	
担当部署名				沖縄振興基本方針 該当箇所		Ⅲ-10-(1)	
事業内容	草木廃棄物を利用した「循環のシステム」を構築するため、町内家庭から出る草木を堆肥化し、活用する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	6,325	7,215	6,508	8,275	10,741
		(b) 予算現額	6,325	7,215	7,560	8,275	10,741
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	1,052	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計 (b+d)		6,325	7,215	7,560	8,275	10,741
	B. 執行済額		5,548	6,696	7,919	10,287	7,974
	うち交付金充当額		4,438	5,357	6,335	8,229	6,379
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		87.7%	92.8%	104.7%	124.3%	74.2%
予算の状況の説明		予算執行についてはR2の実績により予算措置したが、排出される草木量が例年どおりであったため、2,767千円の不用額が生じた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	町内から排出される草木を堆肥化することで、リサイクル量の増を図る。	目標	()	()	()	()	
		実績	増	増			
	町内から排出される草木の堆肥化完了	目標	()	()	(堆肥化完了)	(堆肥化完了)	
		実績			堆肥化完了	堆肥化完了	
達成状況説明	町内の各家庭、地域の清掃活動から排出された草木を収集し、533tを堆肥化することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値 (年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (年度)
	家庭系草木のリサイクル量(堆肥化):435t	目標	()	(472t)	(435t)	(435t)	()
		実績		477t	592t	443t	
	町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化):105t	目標	()	(45t)	(105t)	(105t)	()
		実績		44t	104t	90t	
	進捗状況説明	家庭系草木は目標の435tより8t多い443tを収集し、堆肥化することができた。町内一斉清掃草木については目標の105tより15t少ない90tをリサイクルできた。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・草木の排出量が増えると異物混入が多くなることから、収集の際に異物混入がないかチェック体制を強化する必要がある。	・異物混入を減少させるため、作業員による収集時や個人による自己搬入時の分別を徹底させる必要がある。
今後の取り組み方針		
引き続き収集時に収集員によるチェック作業を行うとともに、草木の施設への自己搬入についても異物混入がないよう受入作業担当者と連携して取り組んでいく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,974	7,974	6,379	1,595	0



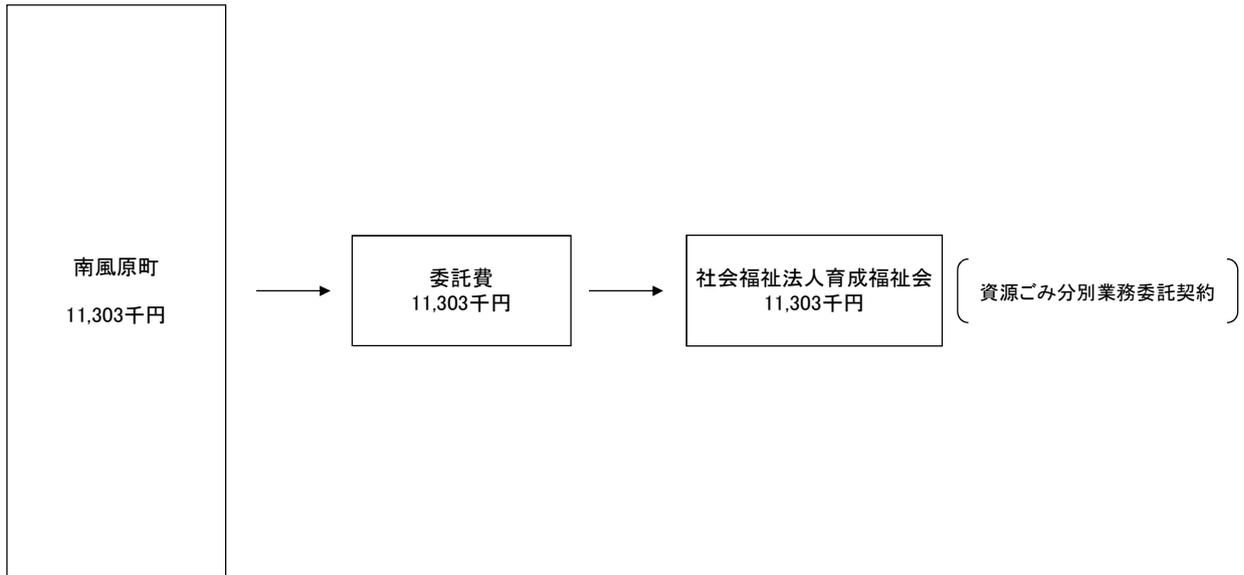
資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○南風原町近郊で家庭から排出された草木を堆肥にリサイクルできる委託先が一社しかないため、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号による随意契約である。 ○予算執行率は草木の搬入量の範囲内で適正な量であったため予算規模も適正であった。 ○費用・使途も事業にかかる経費で真に限定的である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町								
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	3-③ 環境保全3R推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア					
	担当部署名	総務部 住民環境課			事業実施(予定)年度	3Rの推進				
		令和元～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(1)						
事業内容	本町の一般世帯から回収された資源ごみの分別作業を実施しリサイクルすることで環境負荷の少ない循環型社会を形成する。									
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R1年度					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		(a) 当初予算額	4,265	9,382	11,304					
		(b) 予算現額	4,265	9,382	11,304					
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0					
		(d) 繰越額	-	-	-					
		A. 計(b+d)	4,265	9,382	11,304					
		B. 執行済額	4,264	9,381	11,303					
		うち交付金充当額	3,411	7,505	9,042					
		次年度繰越額	0	0	0					
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%					
予算の状況の説明		事業計画どおりの執行ができた。								
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況							
	町内から排出される資源ごみを分別しリサイクル量の増加をはかる。	目標	()	()	()	()				
		実績	増							
	町内から排出される資源ごみを分別及びリサイクルの完了	目標	()	(分別及びリサイクルの完了)	(分別及びリサイクルの完了)	()				
		実績		分別及びリサイクルの完了	分別及びリサイクルの完了					
	達成状況説明		計画どおり資源ごみを分別することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)			
	資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の収集分別量703t	目標	()	(284t)	(685t)	(703t)	()			
		実績		329t	756t	662t				
	廃食油の収集分別量 18,317ℓ	目標	()	(9,720ℓ)	(20,691ℓ)	(18,317ℓ)	()			
		実績		9,640ℓ	19,156ℓ	21,941ℓ				
	進捗状況説明		資源ごみは目標の703tを下回る662tを分別することができた。廃食油は目標を上回る21,941ℓを分別することができた。							

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 排出される資源ごみの増加により、異物混入も増加している。 異物混入対策のため作業員の増員を図ったが人員の確保ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 分別作業スケジュールの見直しを検討する。 収集時に指導シールを貼り異物混入を防ぐ。
今後の取り組み方針		
<p>ごみの排出量によって作業時間の延長や作業日の追加など作業スケジュールの見直しに取り組んでいく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
11,303	11,303	9,042	2,261	0



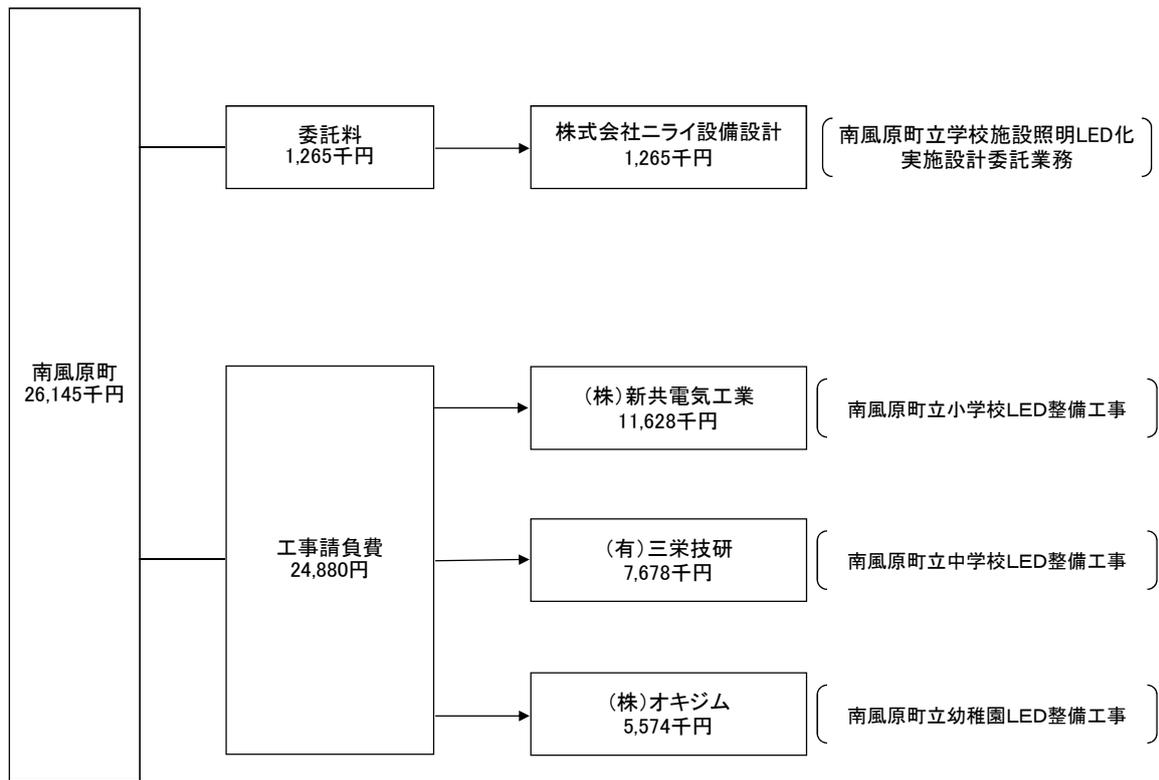
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○本事業は町内における資源ごみを分別しリサイクルすることで環境負荷の少ない循環型社会を形成することを目標としており本町障がい者優先調達推進方針及び地方自治法施行令第167条の2第1項第3号による随意契約であり妥当である。</p> <p>○予算執行率は100%で不用額はなく適正であった。</p> <p>○費用・使途も事業にかかる経費で真に限定的である。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④ 低炭素社会化事業(省エネ設備導入事業)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-(ア)		
担当部署名	教育部教育総務課	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進		
事業内容	温室効果ガス(CO2)を減らし地球温暖化の抑制に繋げるため、町立幼稚園、小学校、中学校にある室内灯(蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明等への切り替えを行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	55,978	55,852			23,217
	(b)予算現額	55,978	50,339			23,217	
	(c)増減額(b-a)	0	▲5,513			0	
	(d)繰越額	-	-			-	
	A.計(b+d)	55,978	50,339			23,217	
	B.執行済額	55,762	50,338			26,145	
	うち交付金充当額	44,610	40,271			20,916	
	次年度繰越額	0	0			0	
	執行率(%) (B/A)	99.6%	100.0%			112.6%	
予算の状況の説明	LED化整備工事を3業者で3小学校、2中学校、3幼稚園で実施し、予算を執行することができた。予算と執行済み額との差2,928千円については、3幼稚園にLED照明を増加したため、他の事業からの流用で対応した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	学校施設室内灯(蛍光灯)のLED灯への切り替え(1,363灯)実施。	目標	()	()	()	(1,363灯)	
		実績				989灯	
	既設防犯灯(水銀灯・蛍光灯)のLED灯への切り替え(405灯)	目標	(405灯)	()	()	()	
実績		403灯					
達成状況説明	・1,363灯のLED化を目標に、南風原町立小学校3校・中学校2校・幼稚園4園のLED化整備の設計及び工事を実施し、989灯のLED照明の設置を行ったが、目標を374灯下回る結果となった。 ・目標値を下回った要因としては、高効率の照明機器を設置しCO2削減量が増えたため灯数が減った事によるものである。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	学校施設室内灯(蛍光灯)のLED灯への切り替え(1,363灯)完了	目標	()	(切り替え完了)	()	()	()
		実績		切り替え完了			
	【R4成果目標】 温室効果ガス排出削減量 [136t-co2/年]	目標	()	()	()	()	(136t-co2/年)
		実績					
進捗状況説明	設置灯数は減ったものの計画どおりにLED灯への切替を完了することができた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設内での整備となるため、授業や行事に支障のないよう工事を行う必要があったため事業完了が年度末になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は省エネに努め、適正な管理を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>学校と協力して省エネに努め、適正な管理が行われるように努める。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

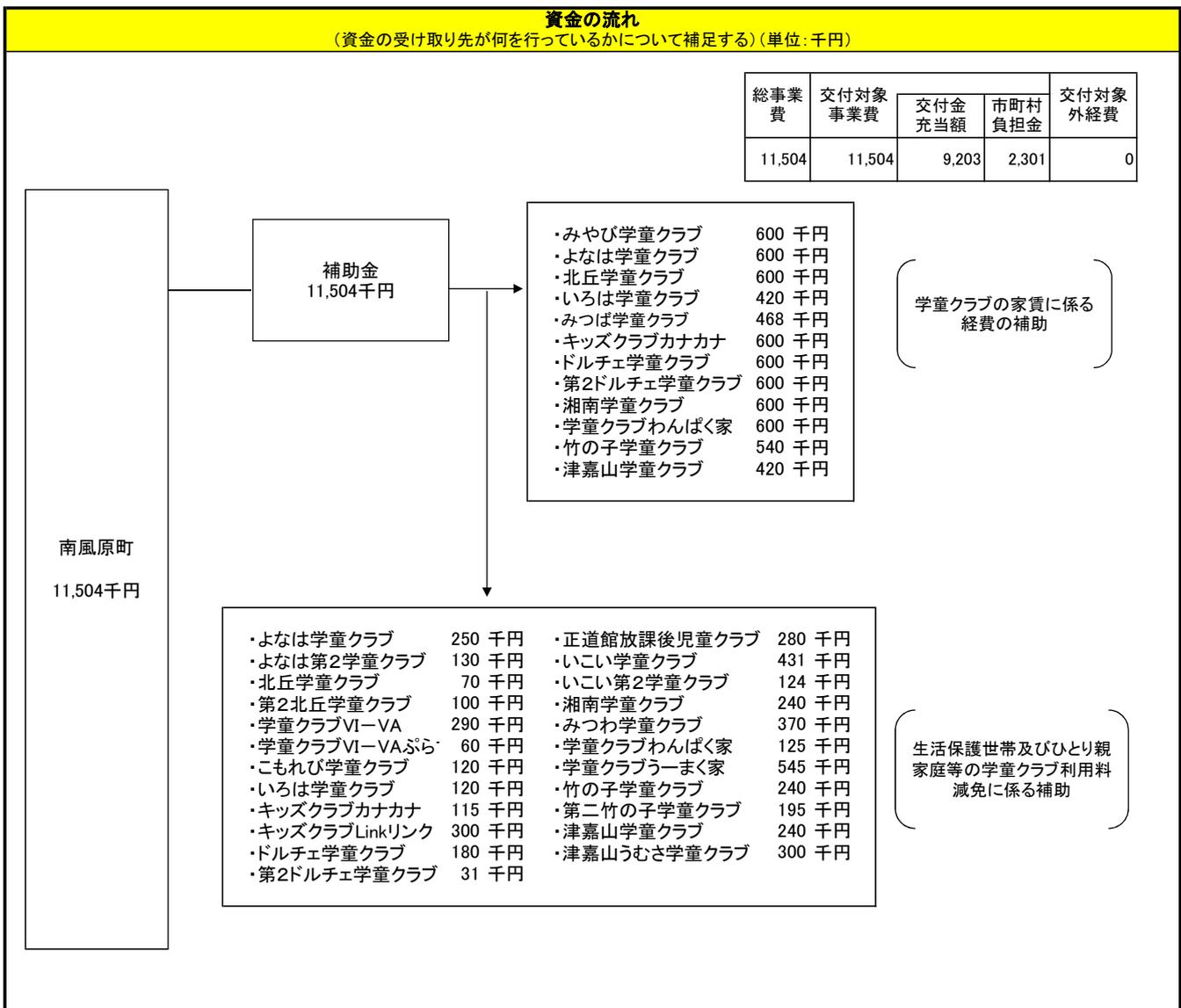
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
26,145	26,145	20,916	5,229	0



資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額は143千円であり、適正な規模であったと考えている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-① 放課後児童の居場所づくり支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ			
	担当部署名	民生部 こども課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	地域における子育て支援の充実 Ⅲ-4		
事業内容	本町の民間の賃貸住宅等を利用している学童クラブに対して家賃の補助を実施する。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施することで、安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
		(a)当初予算額	8,160	9,468	10,068	10,627	12,377	
	(b)予算現額	8,160	9,468	10,068	10,627	12,377		
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0		
	(d)繰越額	-	-	-	-	-		
	A.計(b+d)	8,160	9,468	10,068	10,627	12,377		
	B.執行済額	7,568	9,798	10,075	10,415	11,504		
	うち交付金充当額	6,054	7,838	8,060	8,332	9,203		
	次年度繰越額	0	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	92.7%	103.5%	100.1%	98.0%	92.9%		
予算の状況の説明	保育料減免対象者の延べ人数は目標とほとんど変わらないが、減免対象者の途中退所等により対象月が減ったことにより、不用額873千円が生じた。							
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	(1)家賃補助 12ヶ所	目標	(9ヶ所)	(9ヶ所)	(10ヶ所)	(12ヶ所)		
		実績	9ヶ所	9ヶ所	11ヶ所	12ヶ所		
	(2)生活保護世帯及びひとり親世帯等学童クラブ利用支援補助 97人分	目標	(79人)	(91人)	(92人)	(97人)		
実績		95人	103人	95人	100人			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 賃借料を負担して民間施設等で運営を行っている11学童クラブに対して、負担軽減のため1ヶ月50,000円を上限で家賃補助を実施した。 学童保育料の減免に対する支援については、対象世帯へ1ヶ月5,000円を上限に利用料減免補助を実施した。 							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績		98%	94%	94%	
			目標	()	()	()	()	
			実績					
進捗状況説明	学童保育料の減免を行うことで、ひとり親家庭や生活保護世帯が学童クラブに児童を預けやすくなった。その結果、安心・安全に子供達を預けることができ、保護者アンケートにおいて子育てへの負担感が軽減されたと答えた割合が94%となった。							

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・町ホームページやパンフレットにおける周知や施設での呼びかけにより、ひとり親家庭等の対象者が利用料の減免を受けることができ、結果として子育てへの負担感の軽減を感じた保護者の割合が目標を上回った。	・今後も継続して事業を行う中で、アンケートの見直しを検討し、学童を利用することによる子育てへの負担感の軽減を確認するとともに、目標の達成を継続する。
	今後の取り組み方針	
・今後も、これまで同様に町ホームページやパンフレットを通して利用料減免事業についての周知を行い、各施設においても保護者への案内を徹底することで、保護者の負担軽減に取り組んでいく。		



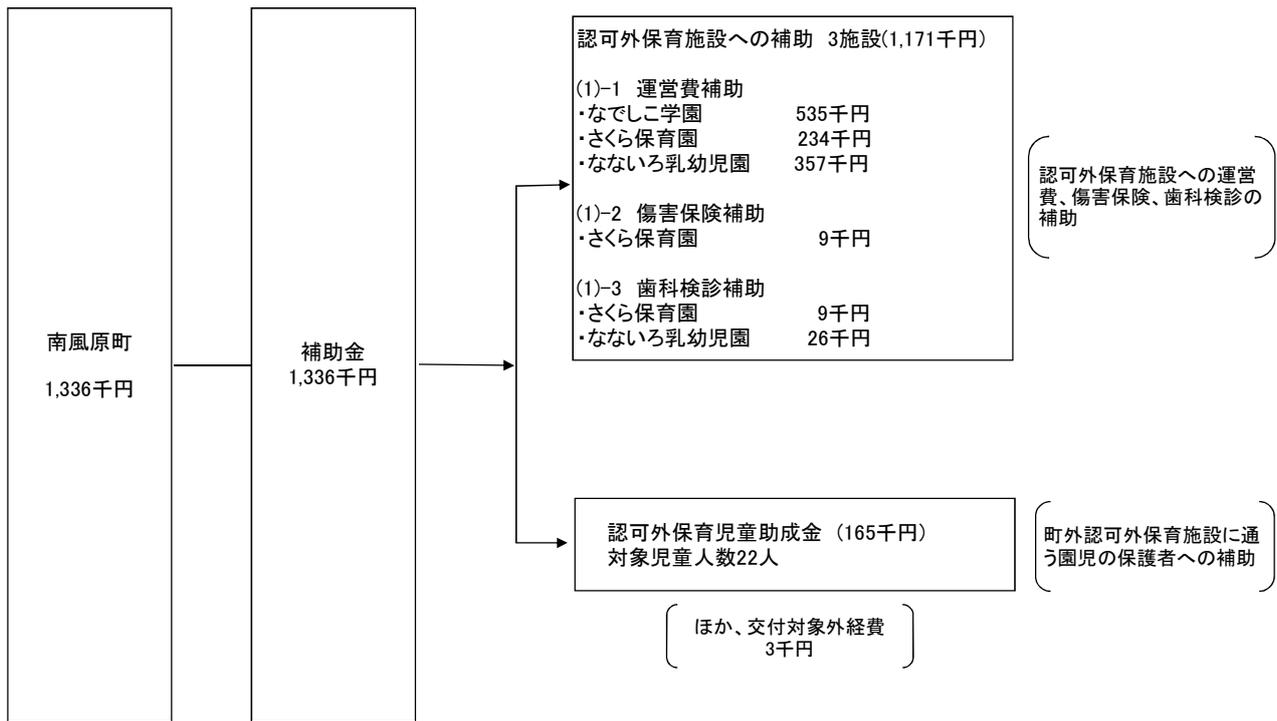
資金の流、費目点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○実績等を勘案した上で補助事業者(学童クラブ)を決定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業達成に必要な分の金額を支出し、妥当な額で実施している。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金の上限を超える金額はクラブ負担であり、妥当で合ったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時に支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-② 認可外保育園支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(2)-イ	
	担当部署名		民生部 こども課	事業実施(予定)年度	令和1～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 Ⅲ-4
事業内容	認可外保育施設の保育の充実、児童の福祉向上を図るため、本町在住児童が利用する町内認可外保育施設に対し、運営費補助、歯科検診補助、傷害保険補助を行う。また、町外認可外保育施設利用の本町在住児童保護者に対し、保育料軽減を目的として助成を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		(a)当初予算額	2,356	3,941	2,904		
	(b)予算現額	2,356	3,941	1,806			
	(c)増減額(b-a)	0	0	▲1,098			
	(d)繰越額	-	-	-			
	A.計(b+d)	2,356	3,941	1,806			
	B.執行済額	2,131	2,152	1,336			
	うち交付金充当額	1,704	1,721	1,069			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	90.4%	54.6%	74.0%			
予算の状況の説明	施設補助は施設における受入児童数の減と補助金申請不要施設があったこと、保育料補助は予定対象者延べ人数372人が実績132人となり、予算額1,098千円減額と470千円の不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	(1)認可外保育施設への補助 3園 1. 運営費補助 2. 傷害保険補助 3. 歯科検診補助	目標	(実施)	(5園)	(3園)	()	
		実績	実施	3園	3園		
(2)町外認可外保育施設に通う町内在住者の児童の保護者への保育料補助 31名	目標	(実施)	(31名)	(31名)	()		
	実績	実施	30名	22名			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・町内認可外保育施設3園に運営費1人あたり月1,500円補助、2園に歯科検診費1人あたり750円補助、1園に傷害保険費1人あたり800円補助を実施した。 ・町外認可外保育施設に通う児童の保護者22人に1人あたり月1,500円の助成を実施した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	園児の保護者に対し、保育の質が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		88%	97.8%	88%	
	園児の保護者に対し、助成により保護者負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
実績			86%	90.9%	100%		
進捗状況説明	当事業該当園児の保護者に対しアンケートを実施し、目標以上の評価を得ることができた。						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・町内認可保育施設及び企業主導型保育施設の増加に伴い、町内在住児童の町内認可外保育施設の利用者は減少傾向にあるが、依然として認可外保育施設の需要はある。 ・当事業を広報誌・ホームページで広く周知し成果目標を達成したが、施設補助において活用しなかった施設があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未活用施設に対し活用を促す。
	今後の取り組み方針	
<p>・施設に対する事業の周知をアンケート調査結果を活用しながら実施する。また、保護者への周知は今後も引き続き広報誌やホームページで広く周知し、子育ての負担軽減が図れるよう取り組んでいく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
1,400	1,336	1,069	267	3



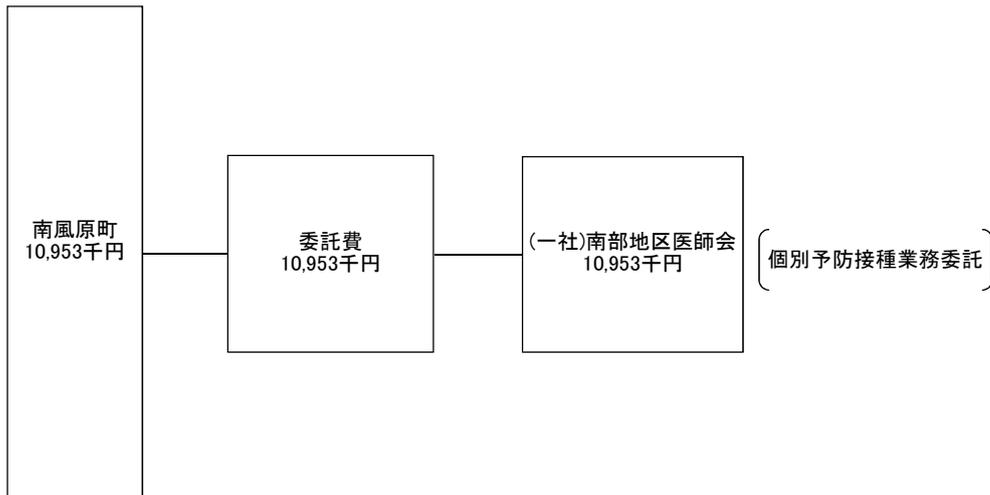
資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○要綱に基づいての決定しており、妥当であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業達成に必要な金額を支出し、妥当な額であると考え。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○上限を超える金額は施設又は保護者の負担になるので妥当であると考え。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時の支出等に関する書類により確認し適正であった。

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③ 輸入感染症対策推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(3)-オ		
担当部署名	民生部 国保年金課	事業実施(予定)年度	令和2～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	保健衛生の推進		
事業内容	麻しん・風しんに感染した観光客が来県した場合でも当該感染症の蔓延を予防し、沖縄観光や経済等への影響を最小限に抑えるため、麻しん・風しん(MR)予防接種の受けやすい体制の構築により接種率の向上を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,945	12,298			
		(b) 予算現額	11,945	12,298			
		(c) 増減額(b-a)	0	0			
		(d) 繰越額	-	-			
	A. 計(b+d)	11,945	12,298				
	B. 執行済額	11,186	10,953				
	うち交付金充当額	8,949	8,762				
	次年度繰越額	0	0				
	執行率(%) (B/A)	93.6%	89.1%				
予算の状況の説明	事業期間において1,100件の接種を見込んでいたが、928件の接種となり89.1%の執行となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	MR I 期接種目標率 95%	目標	(95%)	(95%)	()	()	
		実績	103.8%	91.8%			
	MR II 期接種目標率 95%	目標	(95%)	(95%)	()	()	
実績		87.9%	84.2%				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> MR I 期については、585名の対象者(令和3年10月1日基準日)に対し537名の接種者(令和3年度実績)があり、達成率は91.8%となり目標は未達成となった。 MR II 期については、町ホームページの掲載や教育委員会の実施する就学前健診時に未接種者への接種勧奨を教育委員会と連携し行ったが、587名の対象者数のうち494名の接種に止まり、達成率は84.2%で目標未達成となった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	目標	()	(0件)	(0件)		
		実績		0件	0件		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	外国人観光客受入に起因する麻しん及び風しんの感染は確認されず、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・成果目標は達成できたが、活動目標である接種率を向上させないと後年度に影響が出る可能性があるため接種率の向上を図る必要がある。</p>	<p>・今後も継続した接種率向上を図る取り組みの検討が必要である。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・MRI期については、1歳6ヶ月健診の歳に、母子手帳を確認して未接種の方への接種勧奨に取り組む。そのほか、今後も町ホームページやSNS等による予防接種の広報、就学前健診時の接種勧奨を教育委員会と連携し取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
10,953	10,953	8,762	2,191	0



資金の流 途の点 検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先は予防接種実施医療機関をまとめている、南部地区医師会と地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づく随意契約となっており妥当である。</p> <p>○平均88%の接種率があり、予算規模は適正である。</p> <p>○使途は予防接種のみと限定されている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町
------	------

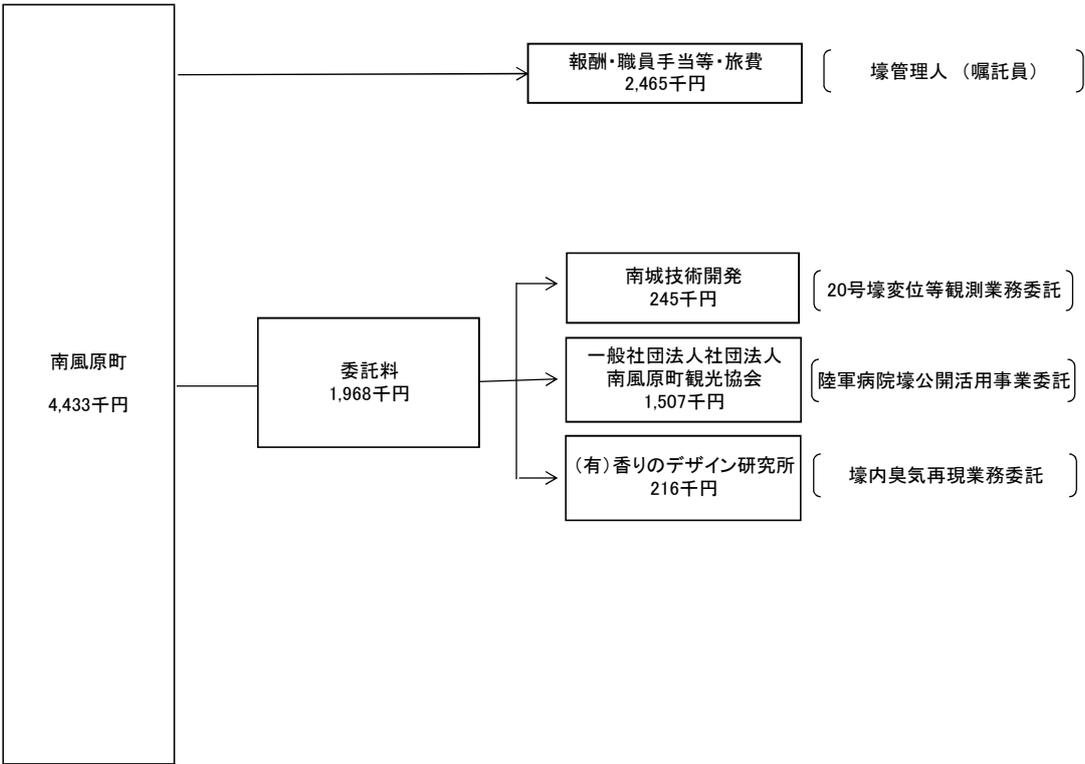
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-① 陸軍病院壕公開活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア			
担当部課名	教育部 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	III-3-(2)		
事業内容	沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、壕群を訪れる見学者へのガイド案内を実施することで南風原町の歴史継承及び観光の誘客を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		6,766	6,992	7,042	7,690	7,979
			6,766	5,670	7,042	5,690	7,979
			0	▲ 1,322	0	▲ 2,000	0
			-	-	-	-	-
	B. 執行済額	4,822	5,159	5,159	3,648	4,433	
	うち交付金充当額	3,857	4,412	4,127	2,918	3,546	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	71.3%	91.0%	73.3%	64.1%	55.6%	
	予算の状況の説明	不用額3,546千円は、新型コロナウイルスの影響により臨時休館および見学者数が減少したことで、南風原町観光協会への委託費の減額等によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	開壕日数:308日	目標	(313日)	(309日)	(305日)	(308日)	
		実績	309日	307日	129日	207日	
	達成状況説明	目標	()	()	()	()	
実績							
・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、緊急事態宣言などが発出された期間は臨時休館を実施したため、目標を達成できなかった。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(24年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	見学者数10,500人	目標	(9,804人)	(11,500人)	(10,500人)	(10,500人)	()
		実績		9,028人	674人	980人	
	進捗状況説明	目標	()	()	()	()	()
実績							
令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、見学者数は令和元年度の1/10程度に落ち込んでいる。団体見学は県内学校1校、町内学校4校を受け入れたのみで、県外団体は全てキャンセルであった。また個人見学についても、年間を通して新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた。12月には月当たり90名程度の個人見学者の来訪があり見学者数増加の兆しが見えたが、年明け後に全国的に緊急事態宣言が発出されたため、見学者は伸びなかった。							

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・新型コロナウイルスの影響により、例年受け入れてきた県外の修学旅行や団体旅行の多くがキャンセルとなった。</p>	<p>・令和4年度以降、感染症対策を講じるにより経済活動が活発化することが予想されるため、見学団体への誘致活動が必要。 ・引き続き、見学団体の要望に応じた陸軍病院壕の活用を進める。一方で、ホームページ等で見学メニューの一覧を掲載するなどの改善が必要。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・町観光協会などと連携し、過去に陸軍病院壕を見学した団体等の誘客を図る。 ・ホームページ等で見学メニューの周知に力を入れ、見学者の要望に柔軟に応えられる体制づくりを進める。</p>		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
4,433	4,433	3,546	887	0



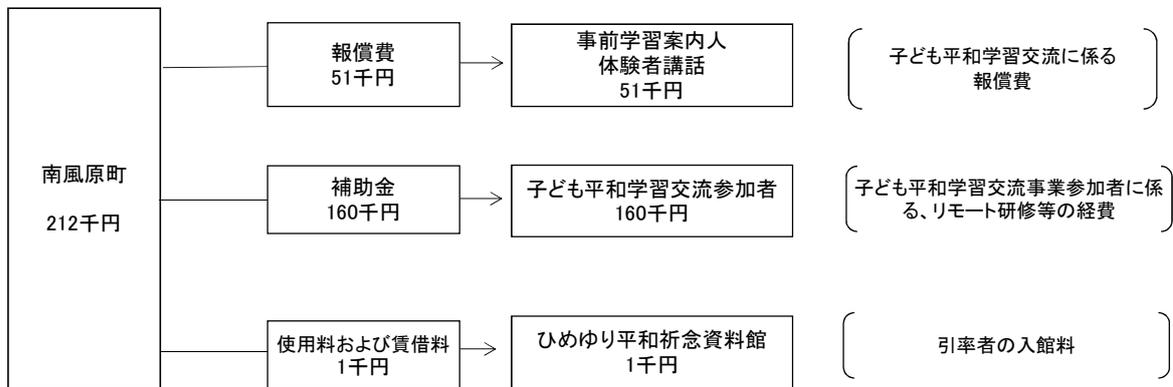
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託について、町の観光資源を活用する組織である南風原町観光協会と、これまでの実績と知識を勘案して選定した業者に随意契約で業務委託を行っており、妥当だと考えている。また、臭気再現業務は契約業者1社のみしか履行できないため適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○3,546千円の不用額が発生したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるものであり、予算規模そのものは事業内容に見合った適正なものと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について、事業目的の観点から必要なものか、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-② 子ども平和学習交流事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア		
担当部署名	教育部 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地球を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成		
事業内容	子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を通じた交流や研修を重ね学習する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,385	1,428	1,120	1,342	1,137
		(b)予算現額	1,385	1,052	917	482	321
		(c)増減額(b-a)	0	▲376	▲203	▲860	▲816
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
	A.計(b+d)	1,385	1,052	917	482	321	
	B.執行済額	946	979	905	300	212	
	うち交付金充当額	756	783	724	240	169	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	68.3%	93.1%	98.7%	62.2%	66.0%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルスの影響で県外研修が中止となったため、予定していた講話謝礼金、引率旅費、施設使用料、参加者の子たちへの補助金(研修旅費)の支出減に伴い予算で816千円減額、執行率も66%となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	子ども平和学習交流事業参加者(14人)		目標 (8人)	(8人)	(8人)	(14人)	
			実績 8人	8人	8人	12人	
事前学習及び本研修を実施後の報告会を開催		目標 (報告会を開催)	(報告会を開催)	(報告会を開催)	(報告会を開催)		
		実績 報告会を実施	報告会を実施	報告書を作成し報告に代えた	各参加児童の発表を録画し配信した。		
達成状況説明	令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により当初予定していた宿泊研修・県外研修が困難となったため、数回の座学に加え広島のホロコースト記念館、広島原爆についての学習をリモート研修に切り替え実施した。また、県外へ行けないことから学校の要望により、参加児童を増やして募集し、合計14人が推薦されてきたが、途中親の送迎が難しいなどの理由で、2人が辞退し12人で取り組んだ。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	参加児童の平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%以上)	()	()	()
			実績	100%			
	参加児童の保護者へのアンケートで、子どもにより変化がみられた:90%		目標 ()	()	(90%以上)	(90%以上)	()
			実績		87.50%	80%	
	参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味をわいた児童:90%		目標 ()	()	(90%以上)	(90%以上)	()
		実績		62.50%	100%		
進捗状況説明	参加児童の募集当初から、新型コロナウイルス感染症が拡大している中であったため、宿泊や県外研修は中止とし、座学や県内の屋外研修、可能な施設見学を実施する趣旨を伝え、子どもたちには参加してもらった。各自のタブレットを使ったリモート研修は慣れてきたと見え、研修の内容に集中できているようであった。終了後のアンケートでも保護者から、各家庭で学んだことの報告や、ニュースを見る機会が増え意見を求めたり、積極的に他人と関わろうとする姿もあったと言うことで意識付けについて良い成果が現れた。						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	【アンケートの結果から】 ・本事業の効果発現を確認することができた。	【アンケートの結果から】 ・引き続き子どもたちへ、理解しやすい内容で平和学習を推進できるように事業を展開していきたい。研修中は家庭でも変化が見られた児童も多く、意識が高まったことが伺えた。
	【新型コロナウイルス感染拡大防止対策中での対応】 ・予定変更された研修について、方法を変更しながらリモート研修の実施などで対応することができた。状況を見ながらバスを貸し切り、屋外研修の実施もできた。	【新型コロナウイルス感染拡大防止対策中での対応】 ・県外研修や宿泊研修に代わり、引き続きリモート研修の実施や、事業に参加したOBや平和ガイドの皆さんの協力を交え、感染防止対策を講じた上で、できる研修内容を探りたい。
今後の取り組み方針		
<p>これまでの研修から発展させる形で、OBの方との交流も増やしたい。関連するいろいろな映像鑑賞や意見交換の場を作り、今後の自分たちのできる活動について考えさせるなどの積極的な展開に向けて取り組んでいきたい。保護者からの提案で、本事業に参加していない児童たちへも周知させるため学校と連携し、授業や行事などの機会に、学習したことを報告できるような場を作っていきたい。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
212	212	169	43	0



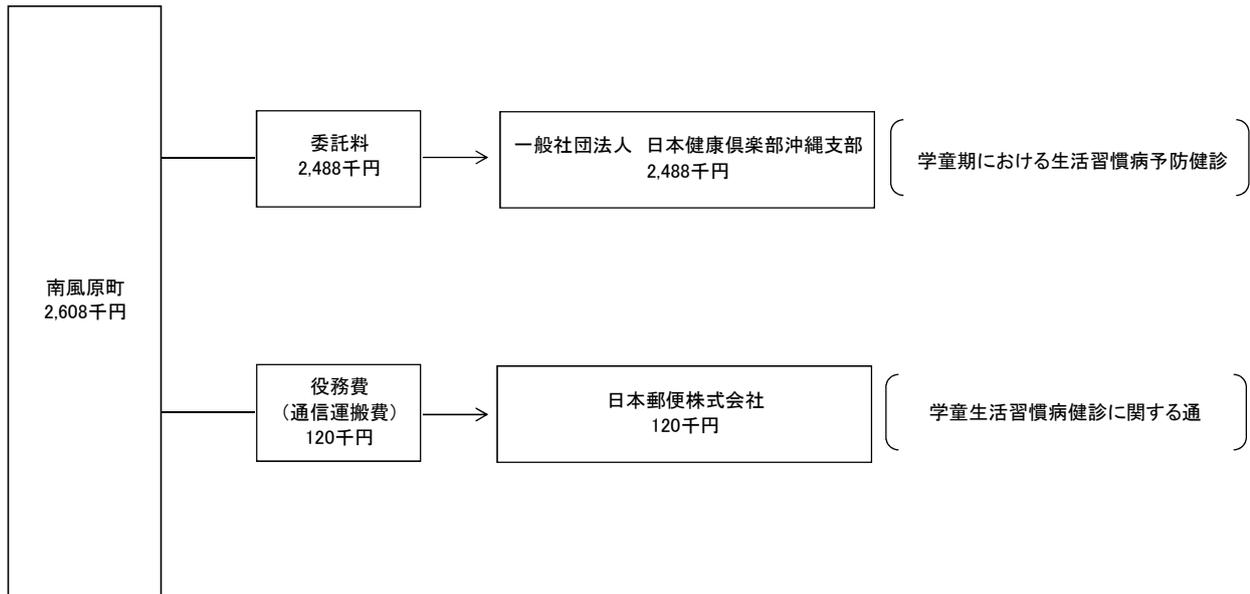
資金の流 れ・費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業に必要な、経費を見積もり等を精査し支出した。参加者(補助金)の選定は学校長推薦により行い適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業達成に必要な金額を支出し妥当な額で実施している。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係については、南風原町子ども平和学習交流事業実施要綱に基づき妥当である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途が事業目的である、研修先へ、交流に必要な経費として目的に即している。

市町村名		南風原町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-① 長寿県復活食の応援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-ア		
	民生部 国保年金課			事業実施 (予定)年度 平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄の食や風土に支えられた 健康づくりの推進	
担当部署名					Ⅲ-4		
事業内容	将来の生活習慣病の予防に向け、町内の小学校5年生及び中学校2年生を対象に生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の 状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	4,022	3,363	3,438	4,944	4,945
	(b)予算現額	2,309	2,184	3,216	2,320	2,669	
	(c)増減額(b-a)	▲1,713	▲1,179	▲222	▲2,624	▲2,276	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	2,309	2,184	3,216	2,320	2,669	
	B.執行済額	2,224	2,143	3,166	2,241	2,608	
	うち交付金充当額	1,779	1,714	2,533	1,793	2,086	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	96.3%	98.1%	98.4%	96.6%	97.7%	
予算の状況の説明		学童期の生活習慣病予防健診受診者が当初の見込みを下回ったため、補正により2,276千円の予算減額を行った。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	生活習慣病予防健診の実施		目標 (開催)	(開催)	(開催)	(実施)	
			実績 開催	開催	開催	実施	
	健診結果説明会の実施		目標 ()	()	(開催)	(実施)	
		実績		中止	中止		
達成状況説明	コロナ禍中であったが、事業を中止することなく新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め学童期における生活習慣病予防健診を小学5年生204人、中学2年生159人に実施することができた。生活習慣病予防健診後は健診結果説明会を開催し、親子で健診結果からの生活習慣を振り返るための学習を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため計画していた集団学習会は中止し、結果郵送時に生活習慣振り返りのためのパンフレット等の資料を同封した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値 (年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (年度)
	中学2年生の継続受診率60%(平成30年度小学5年生で受診した者のうち、中学2年生でどれだけ健診を継続して受診できたか)		目標 ()	()	(60%)	(60%)	()
			実績		68.0%	56.6%	
	将来の生活習慣病予防に向けた、食生活や生活習慣を理解できたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業の在り方を検証する		目標 ()	(80%)	()	()	()
			実績		96.3%		
進捗状況説明	平成30年度に小学5年生で受診した者のうち、令和3年度も継続受診した割合は56.6%であった。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染拡大防止の観点から生活習慣病予防健診後の親子での集団健診結果説明会は中止している状況である。 ・親子で健診結果を知ること家族の健康づくりに寄与できると考える。 ・親子で生活を振り返るような情報の提供ができないか検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防健診受診日は保護者同伴のため、健診会場を活用した生活習慣の振り返りのきっかけになるような情報の発信を考えていく。 ・情報を活用することで子どもを通して家族全体の健康づくりに役立てられるようにねらいを定めた情報発信をしていきたい。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・健診結果と生活習慣とのつながりを保護者がイメージできるよう最新知見を取り入れ、当事者の生活実態に合わせた情報が発信できるよう、健診当日にミニ健康学習会の開催を検討する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
2,608	2,608	2,086	522	0



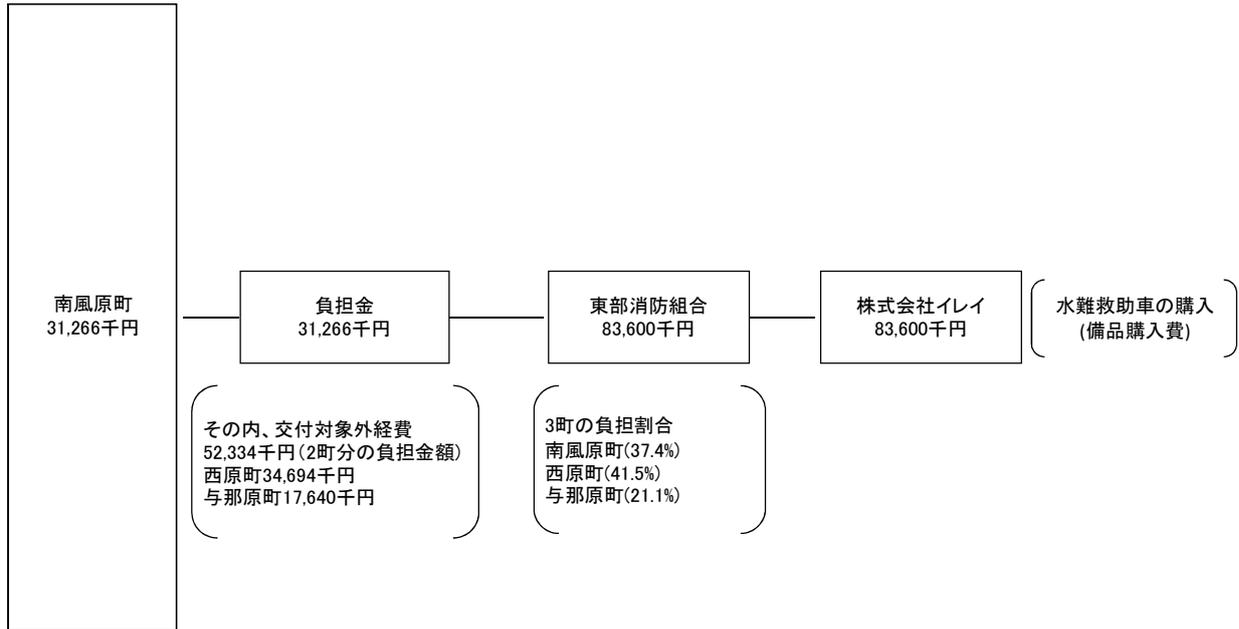
資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業にあたっては業者調査を実施。委託事業の要件に見合う業者が1ヶ所のみであったため、南風原町契約規則に基づき随意契約を行った。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途について精算段階で検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-① 水難救助車整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部署名	総務部 総務課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	海水浴やマリレジャーを楽しむ観光客等ビーチ利用者の水難事故や災害への消防活動の機能強化を図るため、水難救助車の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	35,530				
		(b)予算現額	31,266				
		(c)増減額(b-a)	▲4,264				
		(d)繰越額	-				
	A. 計(b+d)		31,266				
	B. 執行済額		31,266				
	うち交付金充当額		25,012				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		増減額▲4,264千円は入札差金によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	水難救助車の配備(1台)	目標	(1台)	()	()	()	
		実績	1台				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	計画どおり水難救助車を配備することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(R4年度)
	水難救助車の配備完了(1台)	目標	()	(配備完了)	()	()	()
		実績		配備完了			
	【R4成果目標】 水難救助訓練(35回/年)	目標	()	()	()	()	(35回/年)
		実績					
進捗状況説明	一部事務組合構成3町(南風原町、西原町、与那原町)の負担により、計画どおり東部消防組合に水難救助車を配備することができた。						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 水難救助車の配備完了により、出動時に車内での着替え、作戦会議等が行えるようになり、現場到着後すぐに救助活動を行える体制となった。 今後は海上保安部、近隣消防、ビーチ・マリナー管理者等関係機関と連携強化に向け取組み迅速・安全・確実な人命救助を行い、観光客だけでなく町民の安心・安全に寄与することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業の目的は、観光客等の水難事故や災害への消防活動強化となっているため、水難救助車の配備による救助体制の強化が図れるよう水難救助訓練を実施する必要がある。
	今後の取り組み方針	
<p>・定期的な水難救助隊訓練で車両操作や積載資機材取扱いの習熟度向上を図り、各関係機関との合同訓練を通して連携構築し、水難救助車を最大限に活かした水難救助体制強化を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
83,600	31,266	25,012	6,254	52,334



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○負担金支出先は当該一部事務組合に限定されるため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業に要する費用であり適正だと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○負担金の使途については、事業目的達成の観点から必要なものであることを一部事務組合の構成3町で確認しており適正である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	